

**田村市**  
**生活と福祉に関するニーズ調査**  
**結果報告書**

平成 30 年 3 月  
福島県 田村市



# 目 次

第1章 調査実施の概要.....	3
1 調査の目的.....	3
2 調査の設計.....	3
(1) 調査票の種類と調査対象者等.....	3
3 調査の実施方法と配布・回収状況.....	3
(1) 調査時期と調査方法.....	3
(2) 調査票の配布・回収状況.....	3
4 報告書の見方について.....	3
第2章 ニーズ調査結果.....	7
1 調査対象者の現状.....	7
(1) 調査票の回答者.....	7
(2) 調査対象者の属性.....	7
(3) 住まいや暮らしの状況と家族構成について.....	8
(4) 介助（介護）者の状況.....	9
2 障害などの状態について.....	11
(1) 障害者手帳の所持状況等について.....	11
(2) 障害の種類や難病認定等について.....	12
3 保健・医療・介護について.....	14
(1) 日常生活について.....	14
(2) 医療制度等の利用について.....	15
(3) 健康管理や医療について困ったり不便に思ったことについて.....	17
(4) 介護保険サービスについて.....	18
4 障害福祉サービスについて.....	18
(1) 障害支援（障害程度）区分の認定について.....	18
(2) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向.....	19
5 将来の住まいについて.....	21
(1) 将来の生活の場所の意向.....	21
(2) 自宅や地域で生活できる条件.....	21
6 就学・就労状況について.....	22
(1) 現在の就労状況.....	22
(2) 未就労者の状況.....	22
(3) 就労者の状況.....	23
(4) 就学者の状況（日中の子どもの活動）.....	25
(5) 希望する将来の就労形態と必要と思われる就労環境について.....	26
(6) 働くために大切な環境.....	26
7 外出について.....	27
(1) 外出状況について.....	27
8 社会参加や地域での生活について.....	30

(1) 地域とのつきあい方.....	30
(2) 余暇活動等について.....	31
9 情報収集について.....	33
(1) 福祉サービスや福祉制度に関する情報入手について.....	33
10 災害対策について.....	35
(1) 災害対策について.....	35
11 生活全般について.....	37
(1) ふだんの過ごし方について.....	37
(2) 現在の生活の中で困っていること、将来に対する不安・悩みについて.....	37
12 権利擁護について.....	38
(1) 障害者の権利擁護について.....	38
13 田村市の障害福祉サービスや行政の取組について.....	40
(1) 障害福祉サービスや行政の取組について.....	40
<b>資料編</b> .....	<b>45</b>
1 調査票.....	45
(1) 調査票.....	45

# 第 1 章

## 調査実施の概要



## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

田村市では、より良い障害者福祉を目指すべく、現行の「障害者計画」及び「障害福祉計画」の内容を見直し新たな計画を策定するための基礎資料として、障害者福祉に関するアンケートを実施しました。

### 2 調査の設計

#### (1) 調査票の種類と調査対象者等

調査対象者と調査内容は、以下のとおりです。

図表1.1 調査対象者と調査件数

調査票「生活と福祉に関するニーズ調査」	
調査対象者	平成29年8月1日現在、田村市内に住所を有する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）の受給者証を所持している方
調査件数	1,196件

### 3 調査の実施方法と配布・回収状況

#### (1) 調査時期と調査方法

生活と福祉に関するニーズ調査は、平成29年8月28日～9月15日に実施しました。

調査対象者は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）の受給者証を持っている方。配布・回収については郵送調査法を採りました。

#### (2) 調査票の配布・回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

図表1.2 調査票の配布・回収状況

調査票区分	配布数	回収数	回収率
生活と福祉に関するニーズ調査	1,196人	518人	43.3%

### 4 報告書の見方について

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

グラフの「n」とは回答数を表すものであり、設問によって異なる場合があります。



## 第 2 章

### アンケート調査結果

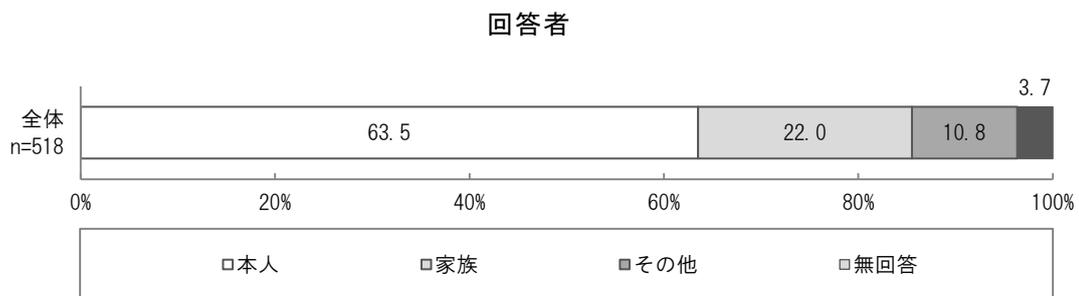


## 第2章 ニーズ調査結果

### 1 調査対象者の現状

#### (1) 調査票の回答者

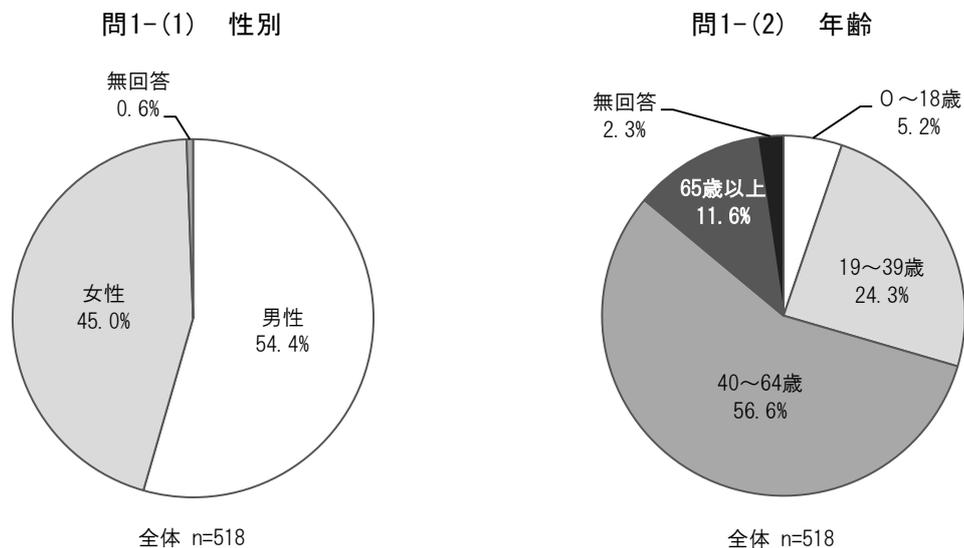
調査票に回答した方は、「本人」は63.5%、「家族」は22.0%となっています。



#### (2) 調査対象者の属性

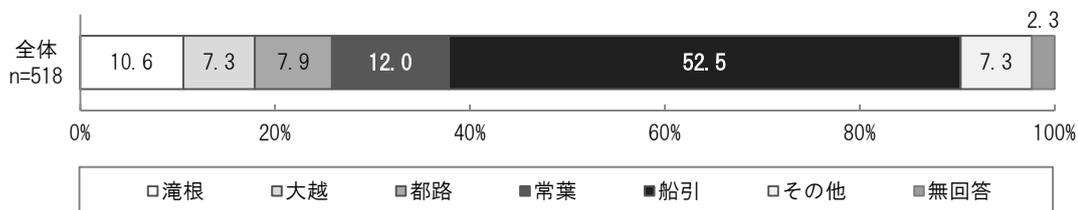
調査対象者の性別をみると「男性」(54.4%)、「女性」(45.0%)となっています。

年齢をみると、「40～64歳」(56.6%)が最も多く、次いで「19～39歳」(24.3%)、「65歳以上」(11.6%)となっています。



現在暮らしている地区は、「船引地区」(52.5%)が最も多く、次いで「常葉地区」(12.0%)、「滝根地区」(10.6%)、「都路地区」(7.9%)、「大越地区」(7.3%)となっています。

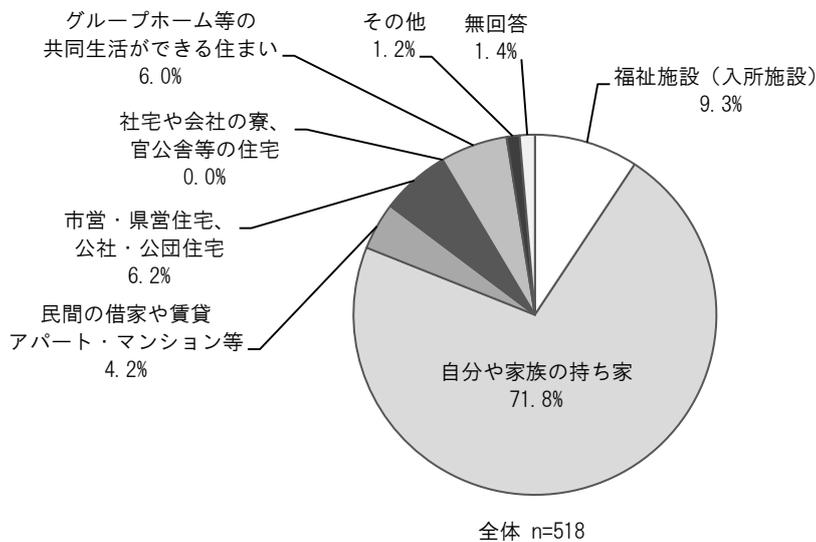
問1-(3) 居住地域



### (3) 住まいや暮らしの状況と家族構成について

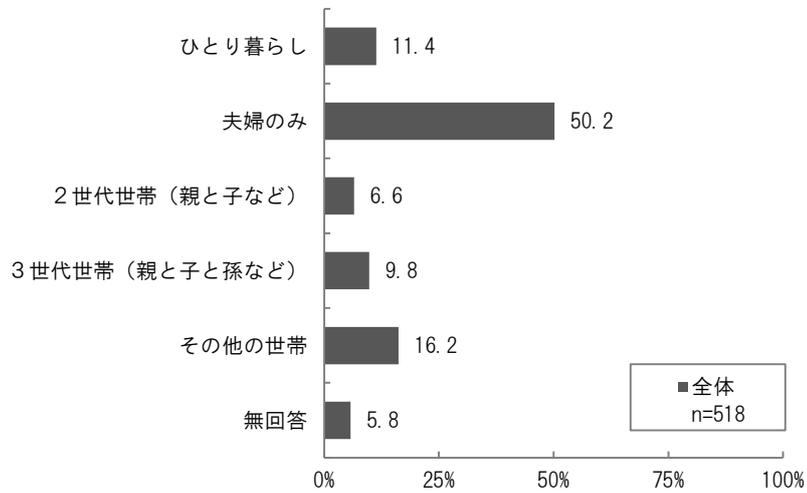
現在暮らしているところをみると、「自分や家族の持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）」(71.8%)が最も多く、次いで「福祉施設（入所施設）」(9.3%)、「市営・県営住宅、公社・公団住宅」(6.2%)となっています。

問2 現在のお住まい



家族構成をみると、「夫婦のみ」(50.2%)が最も多く、次いで「その他の世帯」(16.2%)、「ひとり暮らし」(11.4%)となっています。

問3 家族構成

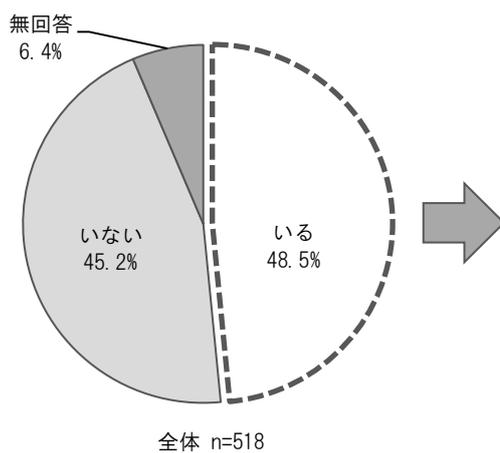


#### (4) 介助 (介護) 者の状況

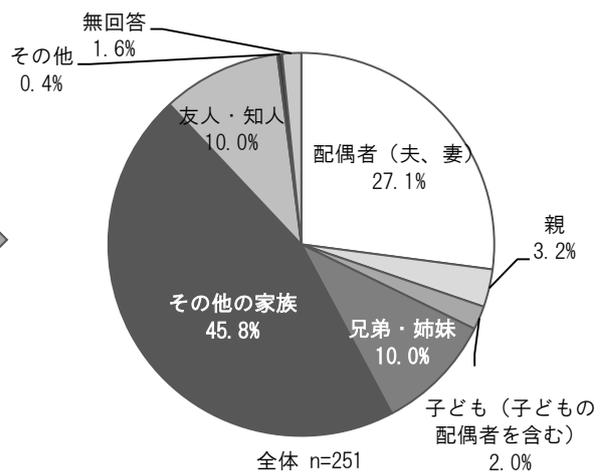
介助 (介護) 者がいるかをみると、「いる」(48.5%)、「いない」(45.2%)となっています。

また、介助 (介護) 者の続柄は、「その他の家族」(45.8%)が最も多く、次いで「配偶者 (夫、妻)」(27.1%)、「兄弟・姉妹」「友人・知人」(各10.0%)となっています。

問4 介助 (介護) 者がいるか



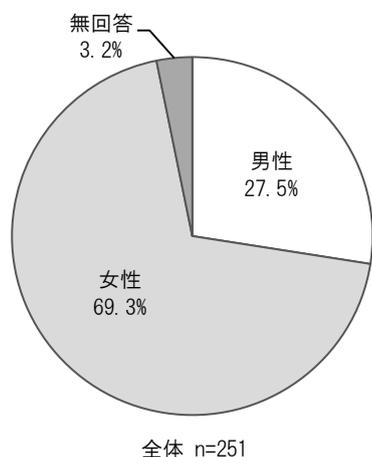
問5 介助 (介護) 者の続柄



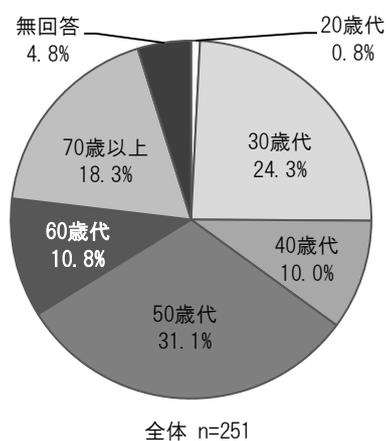
介助（介護）者の性別をみると、「女性」（69.3%）、「男性」（27.5%）となっています。

また、介助（介護）者の年齢をみると、「50歳代」（31.1%）が最も多く、次いで「30歳代」（24.3%）、「70歳以上」（18.3%）となっています。

問6 介助（介護）者の性別

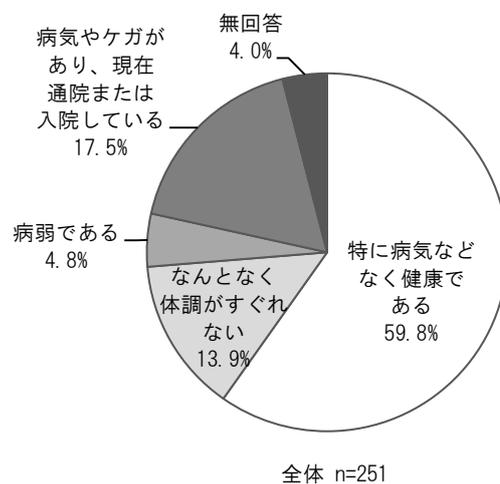


問7 介助（介護）者の年齢



介助（介護）者の健康状態をみると、「特に病気などなく健康である」（59.8%）が最も多く、次いで「病気やケガがあり、現在通院または入院している」（17.5%）、「なんとなく体調がすぐれない」（13.9%）となっています。

問8 介助（介護）者の健康状態



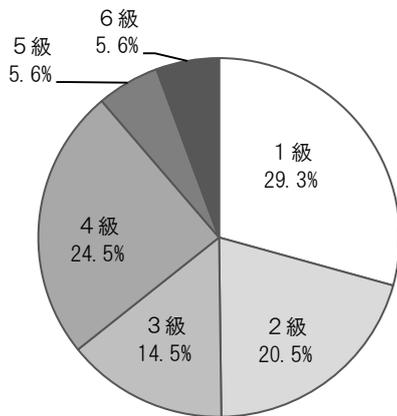
## 2 障害などの状態について

### (1) 障害者手帳の所持状況等について

障害者手帳の所持状況と等級や判定状況を見ると、「身体障害者手帳」を持っている方の等級は「1級」(29.3%)が最も多く、次いで「4級」(24.5%)、「2級」(20.5%)、「3級」(14.5%)となっています。

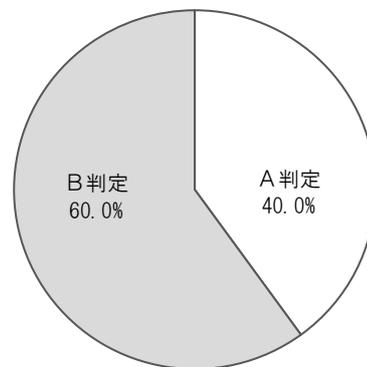
療育手帳を持っている方の手帳の種類は「A判定」が40.0%、「B判定」が60.0%となっています。

問9 身体障害者手帳の等級



全体 n=249

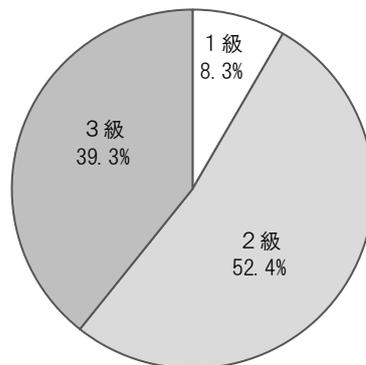
問9 療育手帳の種類



全体 n=160

精神障害者保健福祉手帳を持っている方の手帳の等級は「2級」(52.4%)が最も多く、次いで「3級」(39.3%)、「1級」(8.3%)となっています。

問9 精神障害者保健福祉手帳の等級

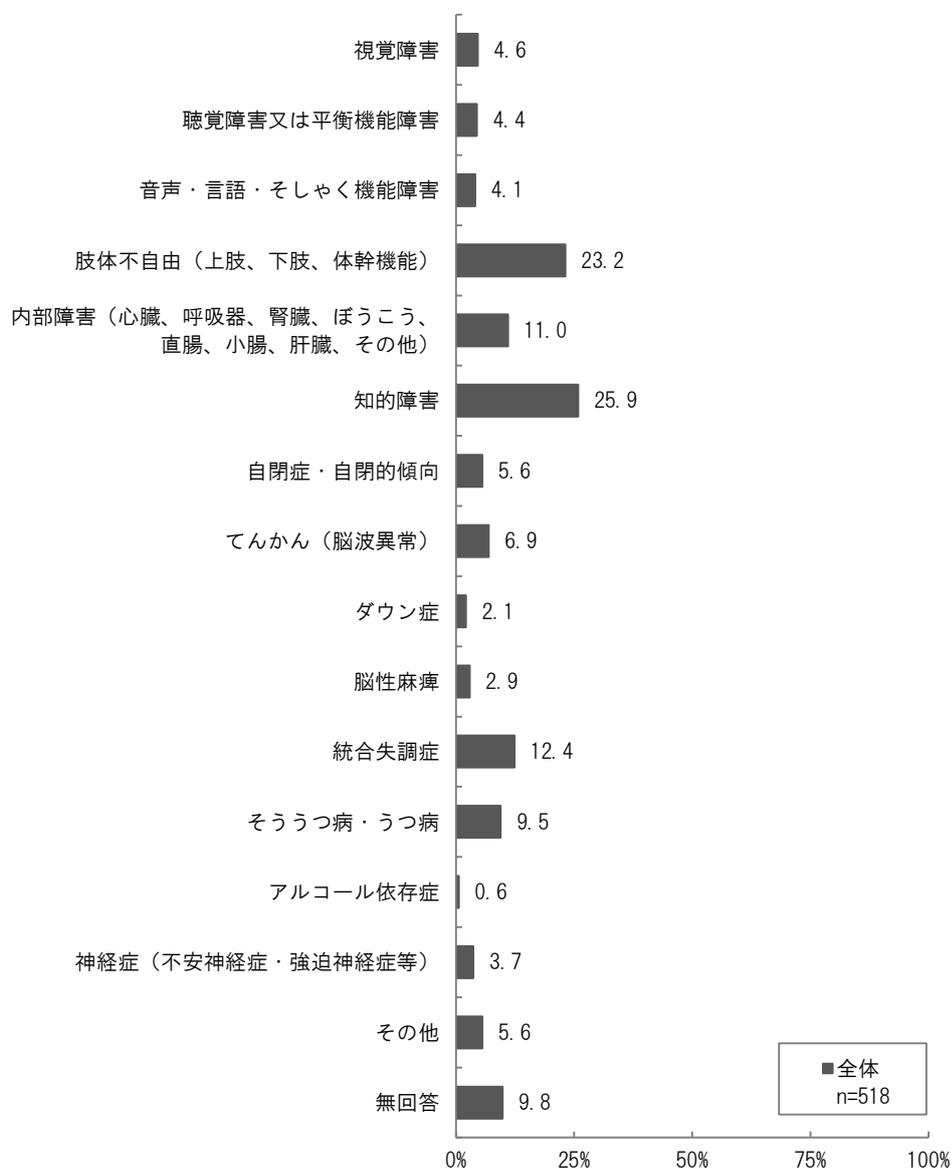


全体 n=84

## (2) 障害の種類や難病認定等について

障害の種類をみると、「知的障害」(25.9%)が最も多く、次いで「肢体不自由(上肢、下肢、体幹機能)」(23.2%)、「統合失調症」(12.4%)となっています。

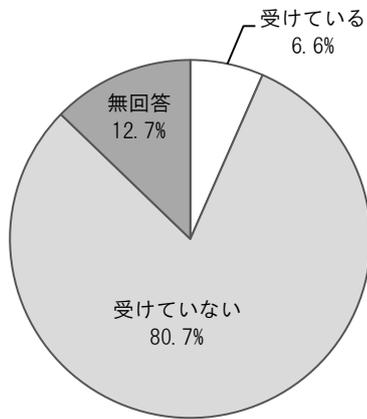
問10 障害の種類



難病認定の状況を見ると、「受けていない」は80.7%、「受けている」は6.6%となっています。

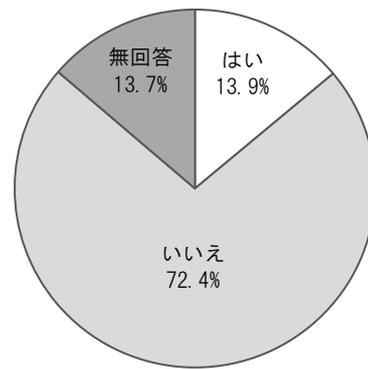
発達障害の診断の有無では、「いいえ」は72.4%、「はい」は13.9%となっています。

問11 難病の認定



全体 n=518

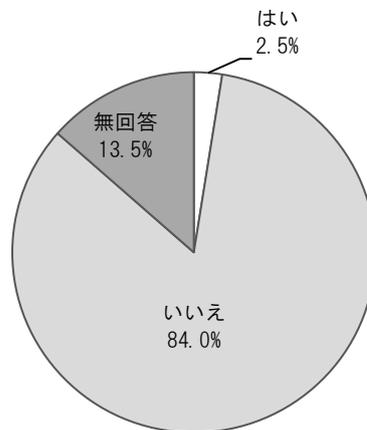
問12 発達障害の診断



全体 n=518

高次脳機能障害の診断の有無では、「いいえ」は84.0%、「はい」は2.5%となっています。

問13 高次脳機能障害の診断

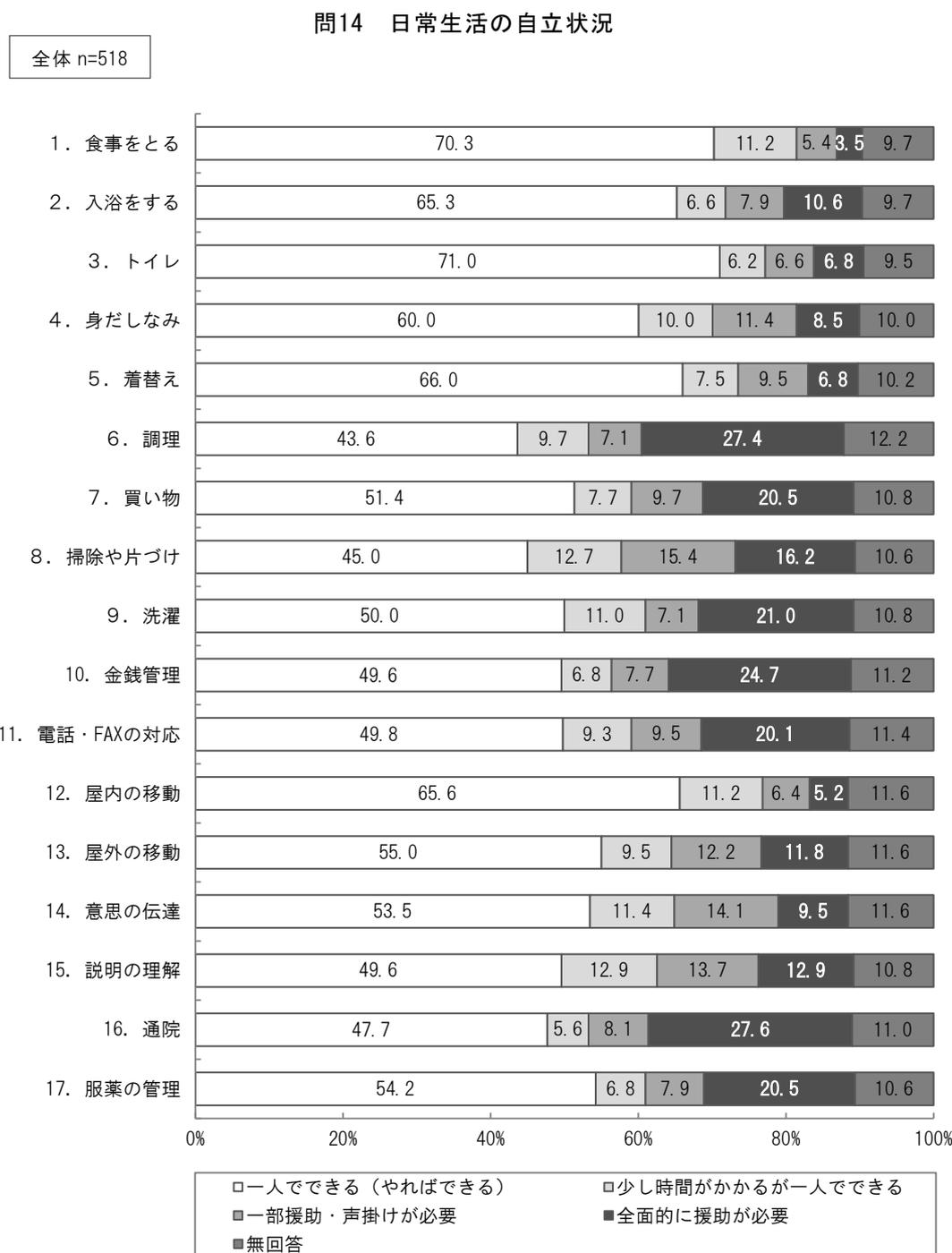


全体 n=518

### 3 保健・医療・介護について

#### (1) 日常生活について

日常生活の自立状況をみると、全ての項目で「一人でできる（やればできる）」（71.0～43.6%）が最も多くなっています。また「一部援助・声掛けが必要」と「全面的に援助が必要」を合わせて30%を超えている項目は「通院」（35.7%）、「調理」（34.6%）、「金銭管理」（32.4%）、「掃除や片づけ」（31.7%）、「買い物」（30.1%）となっています。



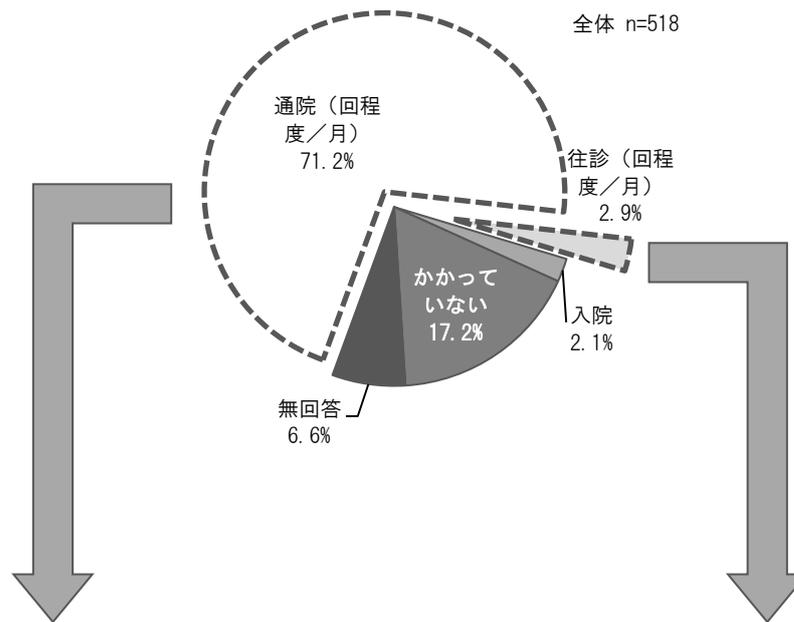
(2) 医療制度等の利用について

医療機関の受診状況では、「通院」(71.2%)が最も多く、次いで「かかっていない」(17.2%)、「往診」(2.9%)、「入院」(2.1%)となっています。

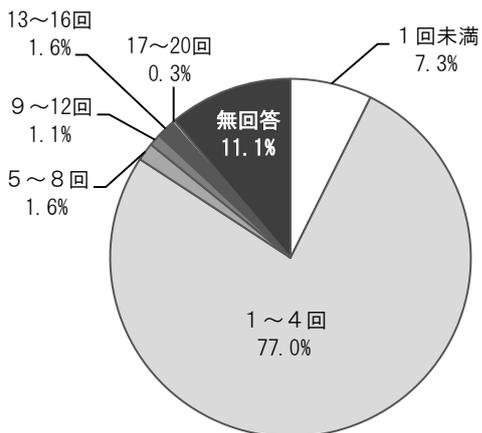
1ヶ月あたりの通院回数は、「1～4回」(77.0%)が最も多く、次いで「1回未満」(7.3%)となっています。

1ヶ月あたりの往診回数は、「1回」(73.3%)が最も多く、次いで「2回」(20.0%)となっています。

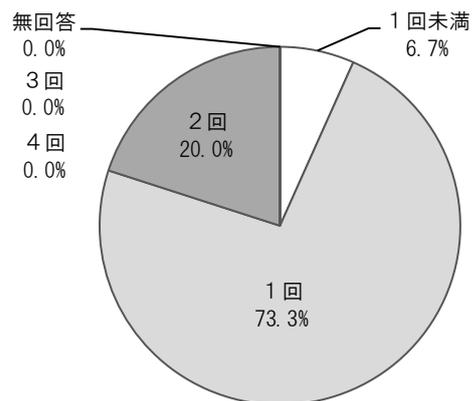
問15 医療機関の受診状況



問15-1 通院回数 (回程度/月)

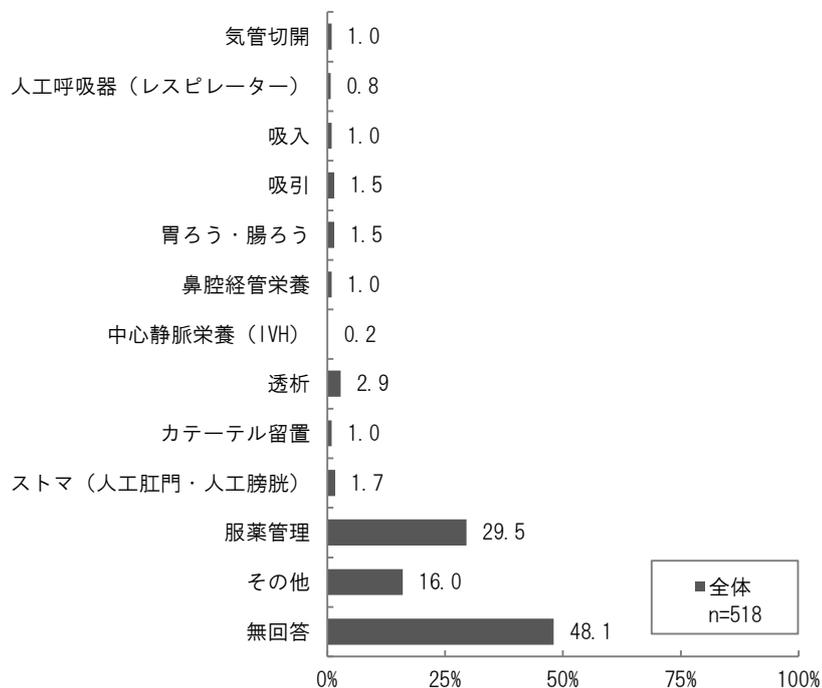


問15-2 往診回数 (回程度/月)



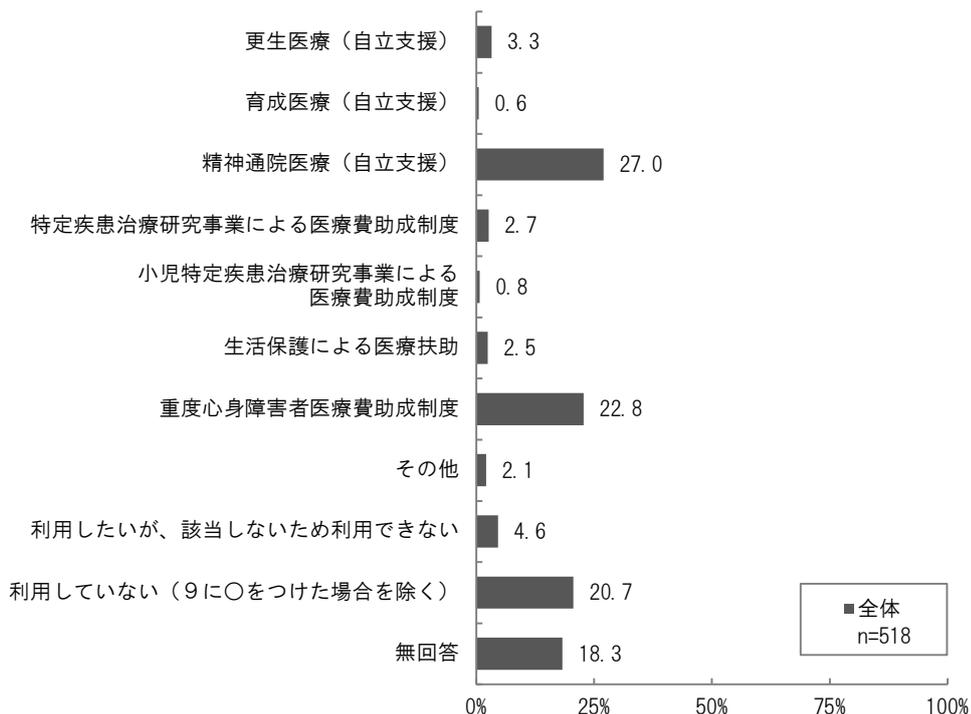
現在受けている医療ケアでは、「服薬管理」(29.5%)が最も多く、次いで「透析」(2.9%)、「ストマ(人工肛門・人工膀胱)」(1.7%)となっています。

問16 現在受けている医療ケア



公費負担医療制度の医療状況では、「精神通院医療(自立支援)」(27.0%)が最も多く、次いで「重度心身障害者医療費助成制度」(22.8%)、「利用していない」(20.7%)となっています。

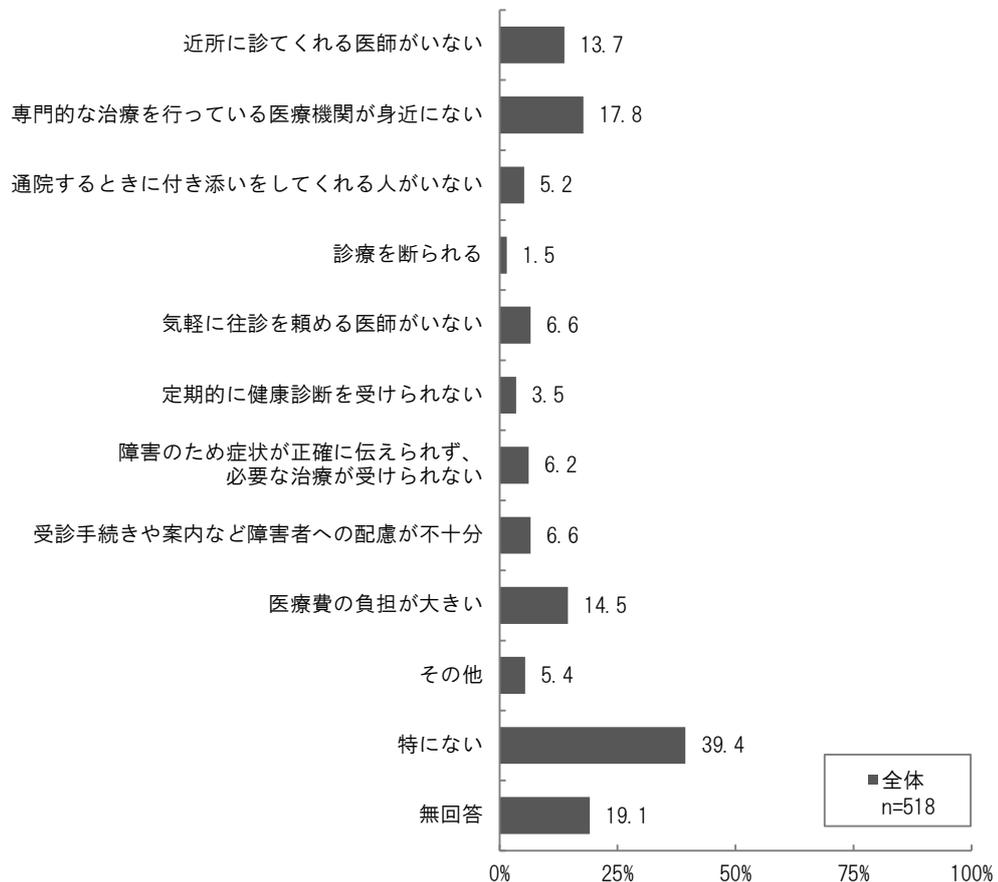
問17 公費負担医療制度の利用状況



### (3) 健康管理や医療について困ったり不便に思ったことについて

健康管理や医療について困ったり不便に思ったことをみると、「特にない」(39.4%)が最も多く、次いで「専門的な治療を行っている医療機関が身近にない」(17.8%)、「医療費の負担が大きい」(14.5%)となっています。

問18 健康管理や医療について困ったり不便に思ったこと

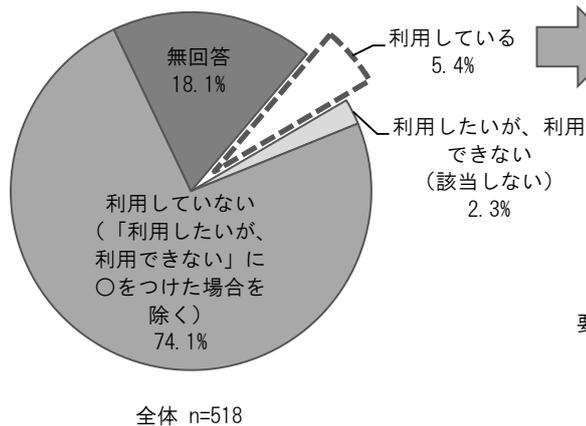


#### (4) 介護保険サービスについて

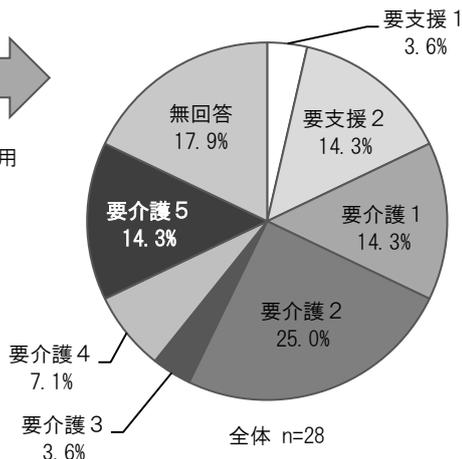
介護保険サービスの利用状況では、「利用していない」(74.1%)が最も多く、次いで「利用している」(5.4%)、「利用したいが、利用できない」(2.3%)となっています。

該当する要介護では、「要介護2」(25.0%)が最も多く、次いで「要支援2」、「要介護1」、「要介護5」(各14.3%)となっています。

問19 介護保険サービスの利用状況



問20 該当する介護度

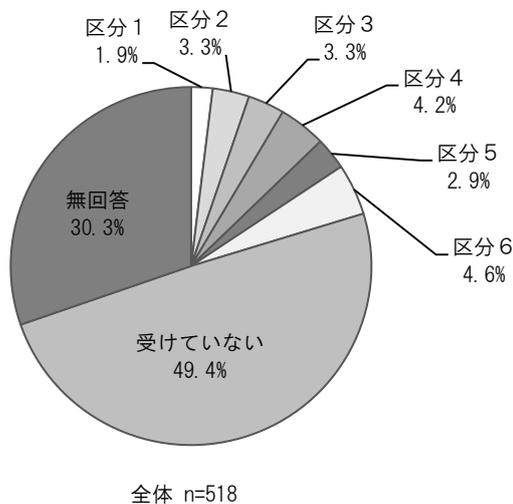


### 4 障害福祉サービスについて

#### (1) 障害支援（障害程度）区分の認定について

障害支援（障害程度）区分の認定の有無をみると、「受けていない」(49.4%)が最も多く、区分の認定を受けている方は「区分6」(4.6%)、次いで「区分4」(4.2%)、「区分2」、「区分3」(各3.3%)、「区分5」(2.9%)、「区分1」(1.9%)となっています。

問21 障害支援（障害程度）区分の認定を受けているか

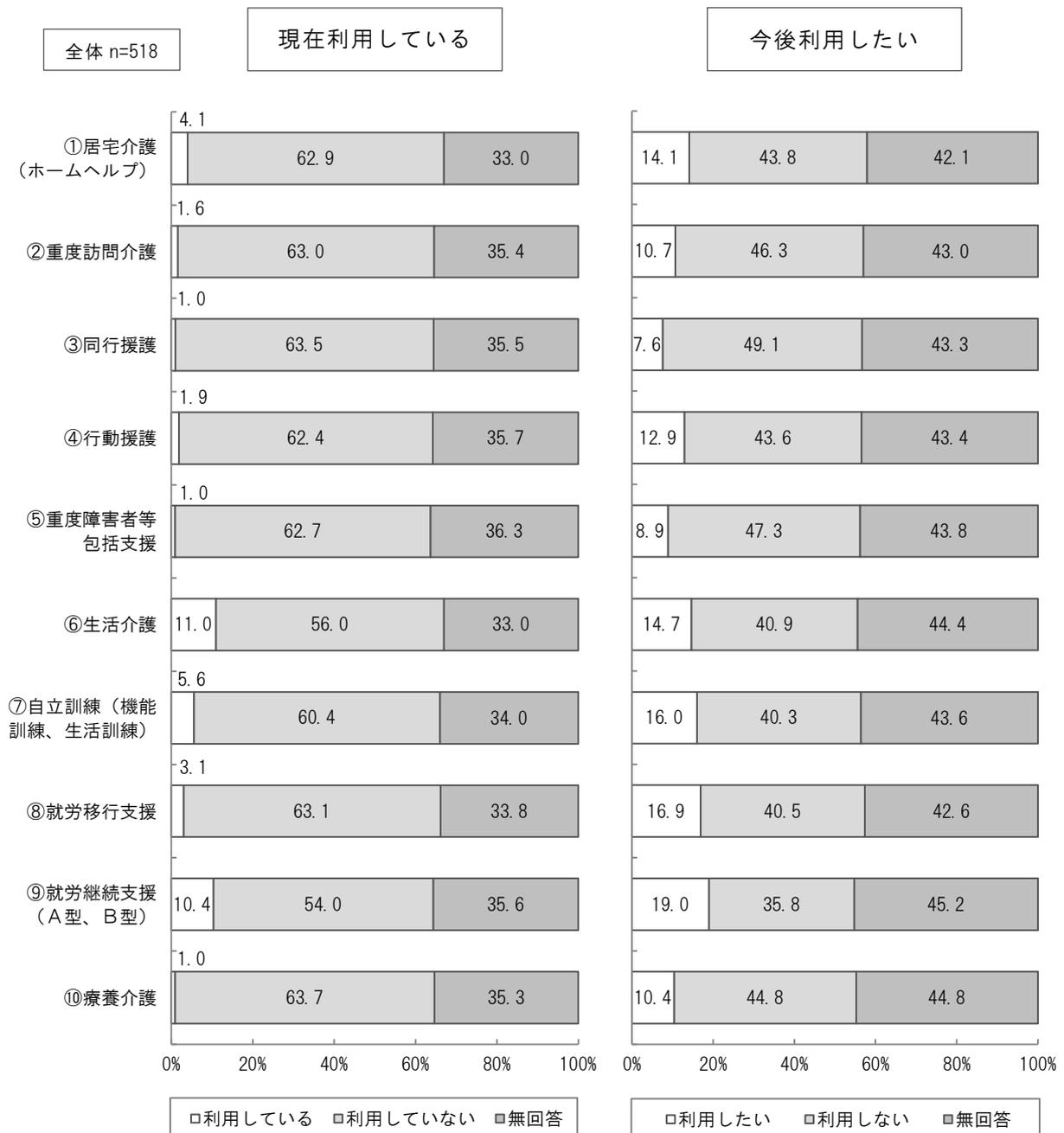


## (2) 障害福祉サービスの利用状況と利用意向

現在利用しているサービスを見ると、①～⑩までは「⑥生活介護」(11.0%)が最も多く、次いで「⑨就労継続支援(A型、B型)」(10.4%)、「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(5.6%)となっています。

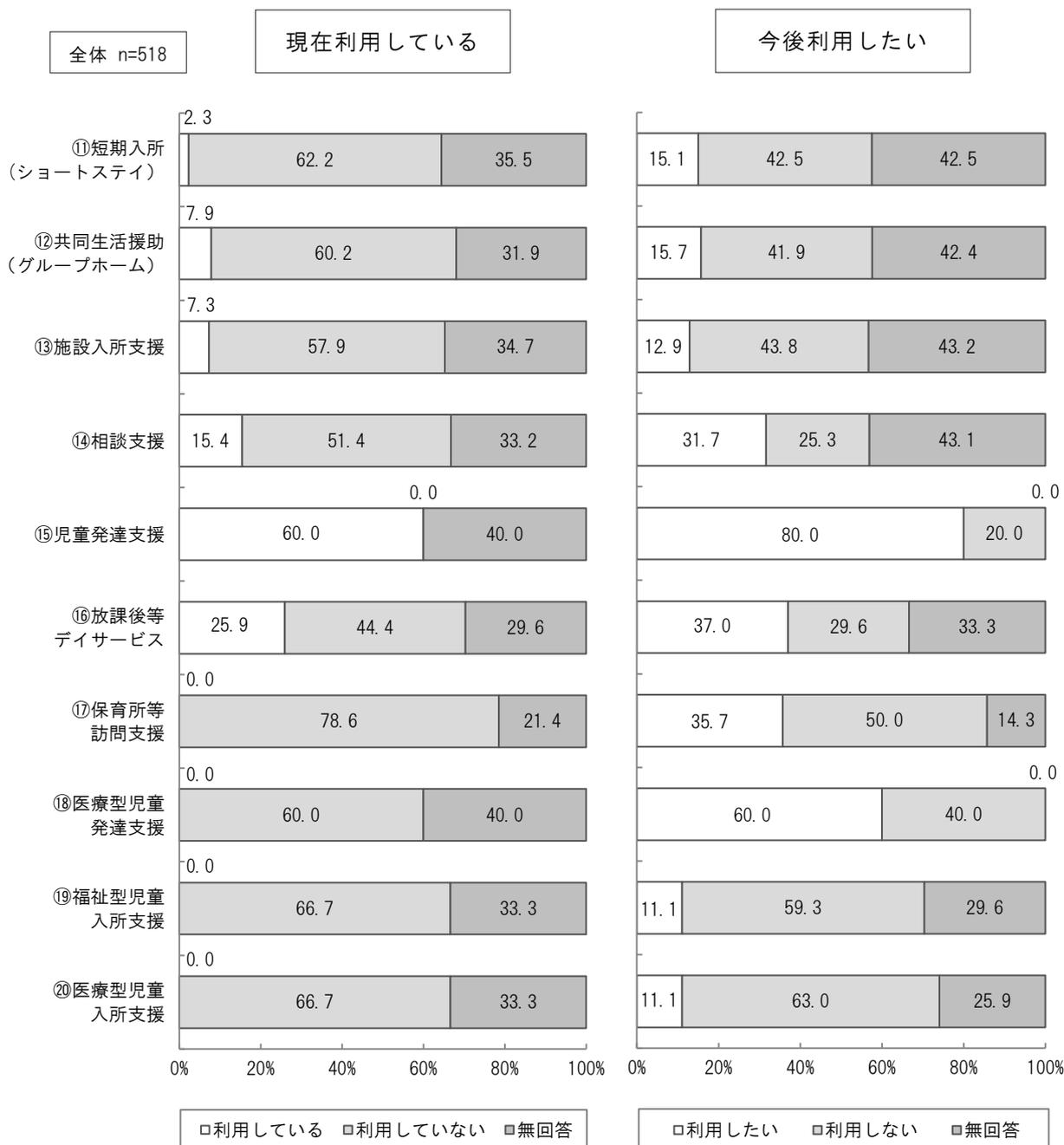
今後利用したいサービスを見ると、①～⑩までは「⑨就労継続支援(A型、B型)」(19.0%)が最も多く、次いで「就労移行支援」(16.9%)、「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(16.0%)となっています。

問22 現在利用しているサービス・今後利用したいサービス



現在利用しているサービスを見ると、⑪～⑳までは「⑮児童発達支援」(60.0%)が最も多く、次いで「⑯放課後等デイサービス」(25.9%)、「⑭相談支援」(15.4%)となっています。

今後利用したいサービスを見ると、⑪～⑳までは「⑮児童発達支援」(80.0%)が最も多く、次いで「⑱医療型児童発達支援」(60.0%)、「⑯放課後等デイサービス」(37.0%)、「⑰保育所等訪問支援」(35.7%)となっています。

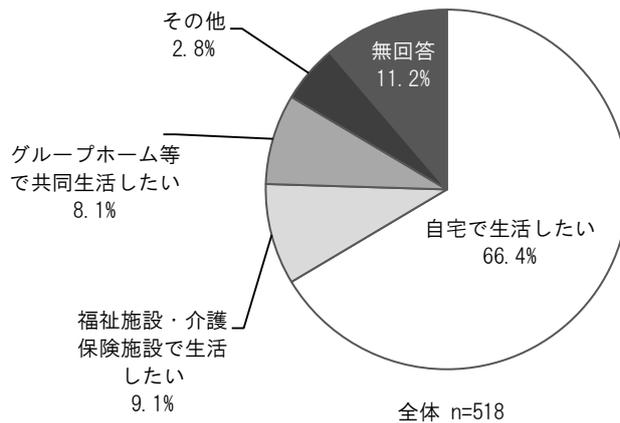


## 5 将来の住まいについて

### (1) 将来の生活の場所の意向

将来の生活場所の意向は、「自宅で生活したい」は66.4%で最も多く、次いで「福祉施設・介護保険施設で生活したい」が9.1%となっています。

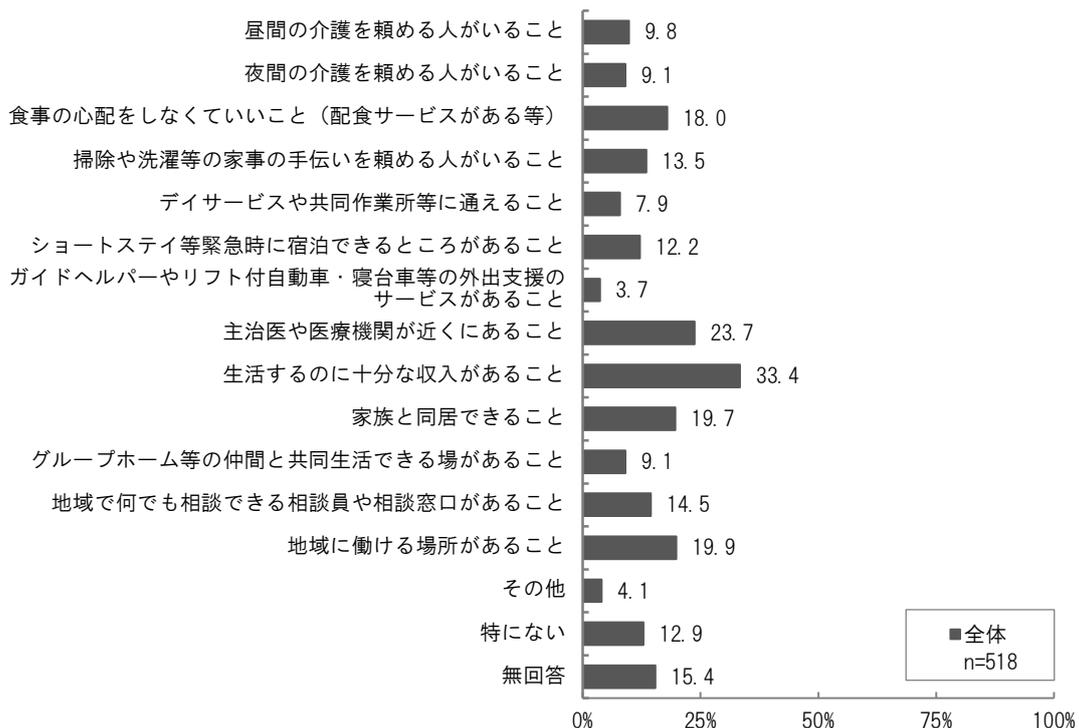
問23 将来どこで生活したいか



### (2) 自宅や地域で生活できる条件

自宅や地域で生活できる条件をみると、「生活するのに十分な収入があること」(33.4%)が最も多く、次いで「主治医や医療機関が近くにあること」(23.7%)、「地域に働ける場所があること」(19.9%)となっています。

問24 自宅や地域で生活できる条件

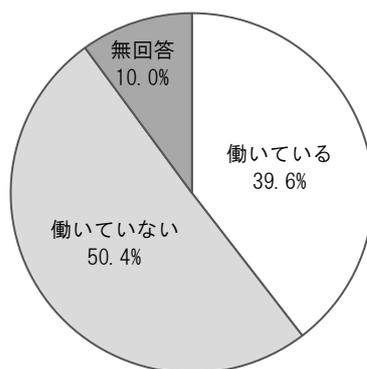


## 6 就学・就労状況について

### (1) 現在の就労状況

現在の就労状況を見ると、「働いていない」は50.4%、「働いている」が39.6%となっています。

問25 現在の就労状況

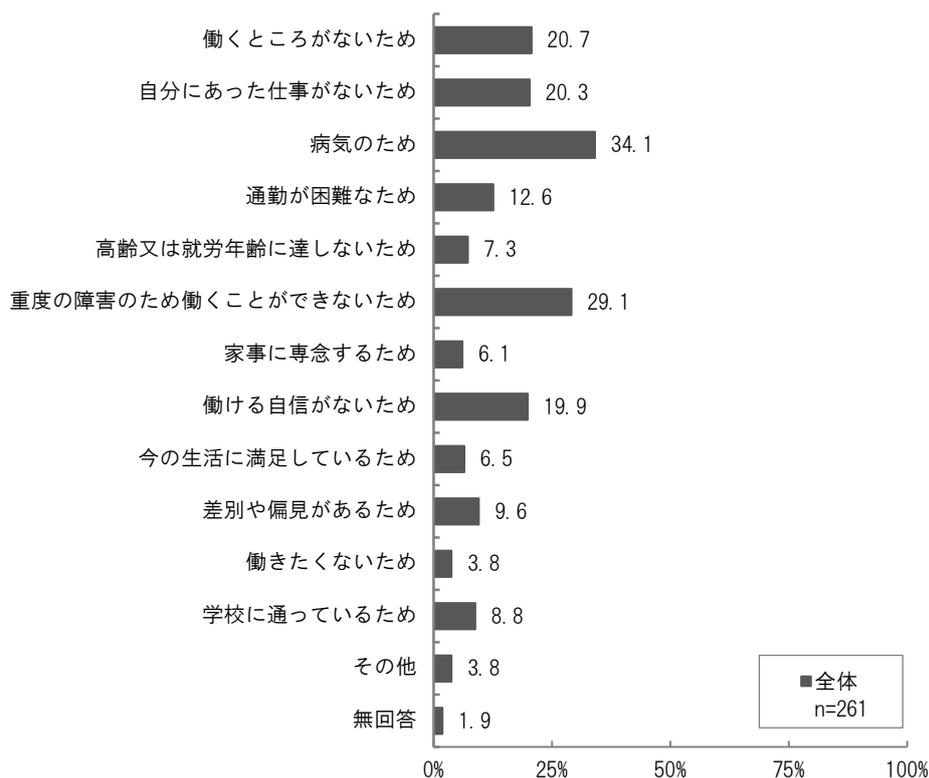


全体 n=518

### (2) 未就労者の状況

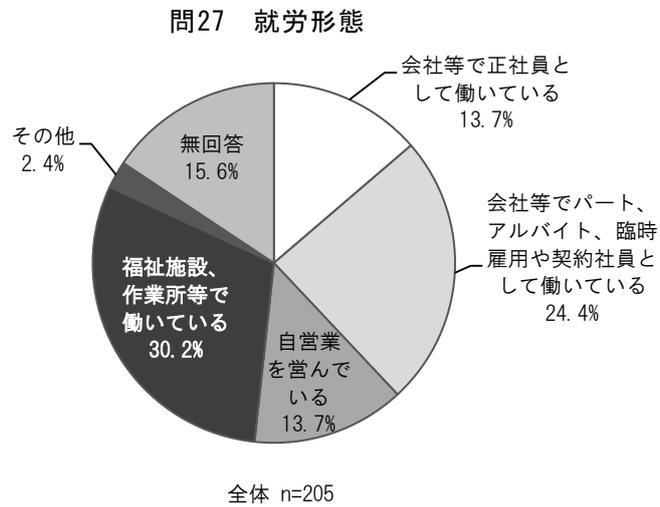
現在働いていない理由をみると、「病気のため」(34.1%)が最も多く、次いで、「重度の障害のため働くことが出来ないため」(29.1%)、「働くところがないため」(20.7%)となっています。

問26 働いていない理由

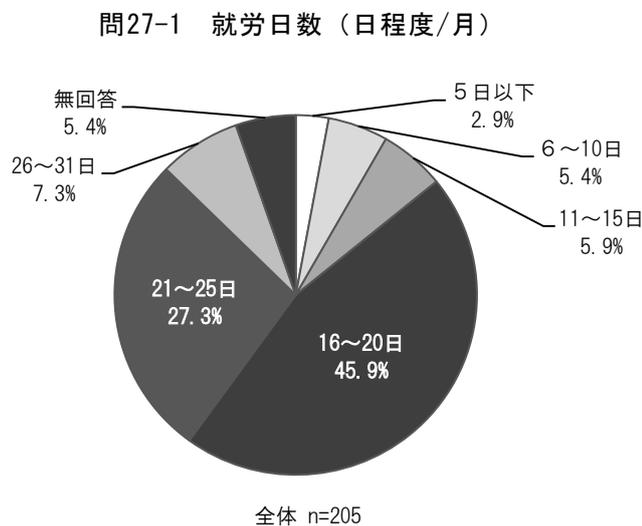


(3) 就労者の状況

就労形態をみると、「福祉施設、作業所等で働いている」(30.2%)が最も多く、次いで「会社等でパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている」(24.4%)、「会社等で正社員として働いている」、「自営業を営んでいる」(各13.7%)となっています。

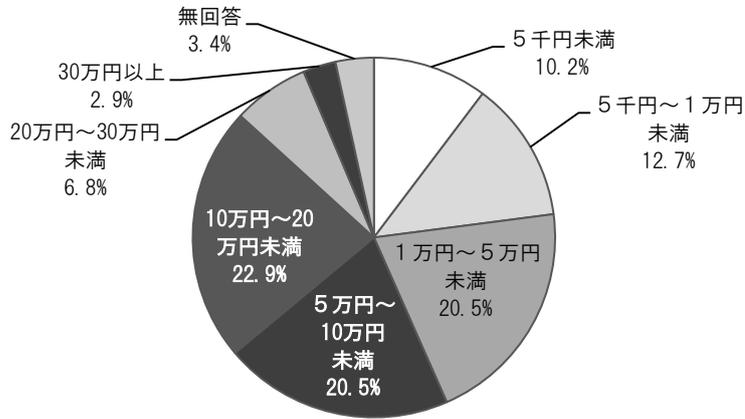


ひと月あたりの就労日数をみると、「16~20日」(45.9%)が最も多く、次いで「21~25日」(27.3%)、「26~31日」(7.3%)となっています。



仕事による一ヶ月の収入をみると、「10万円～20万円未満」(22.9%)が最も多く、次いで「5～10万円未満」、「1万円～5万円未満」(各20.5%)となっており、10万円未満が63.9%を占めています。

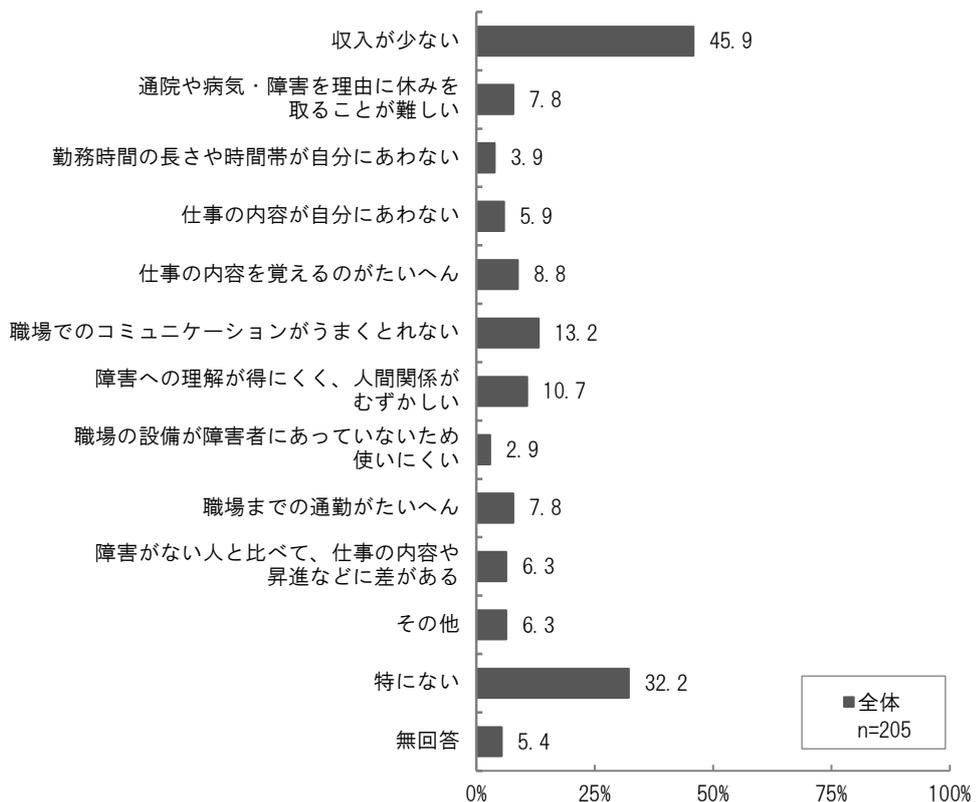
問27-2 仕事による一ヶ月の収入



全体 n=205

仕事のことでの悩んでいること、困っていることをみると、「収入が少ない」(45.9%)が最も多く、次いで「特にない」(32.2%)、「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」(13.2%)となっています。

問27-3 仕事のことでの悩んでいること、困っていること

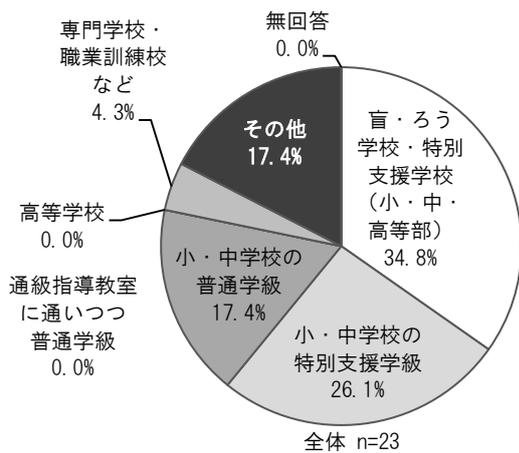


(4) 就学者の状況（日中の子どもの活動）

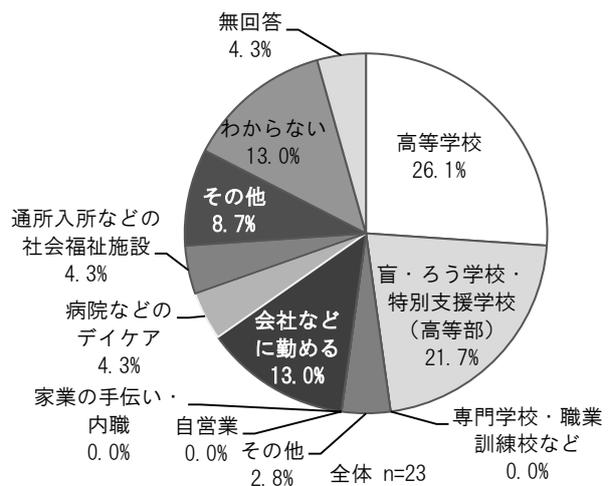
現在通っている学校をみると、「盲・ろう学校・特別支援学校（小・中・高等部）」（34.8%）が最も多く、次いで「小・中学校の特別支援学級」（26.1%）、「小・中学校の普通学級」（17.4%）となっています。

将来、日中を過ごしたい場所をみると、「高等学校」（26.1%）が最も多く、次いで「盲・ろう学校・特別支援学校（高等部）」（21.7%）、「会社などに勤める」（13.0%）となっています。

問28 現在通っている学校

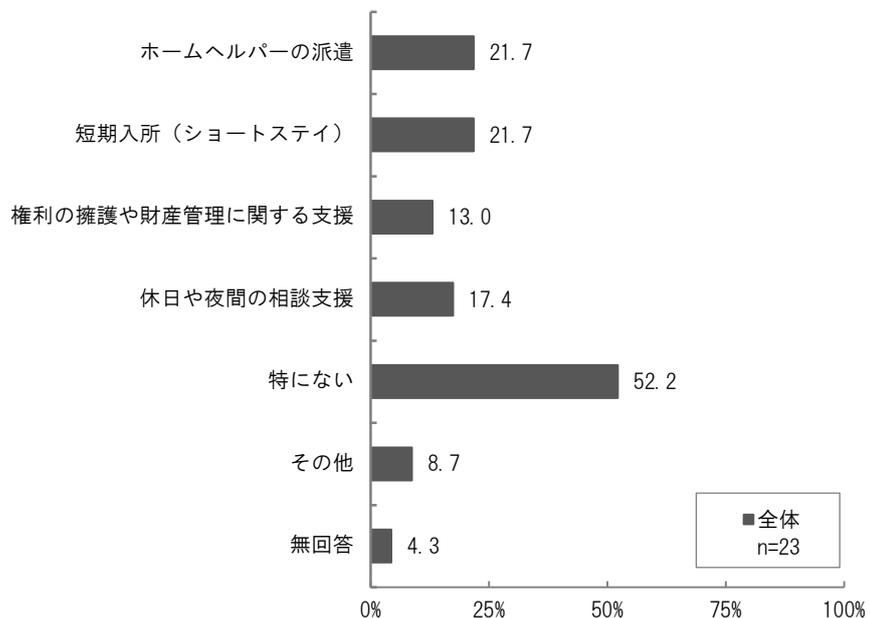


問28-1 将来、日中を過ごしたい場所



今後利用したい福祉サービスをみると、「特にない」（52.2%）が最も多く、次いで「ホームヘルパーの派遣」、「短期入所（ショートステイ）」（各21.7%）、「休日や夜間の相談支援」（17.4%）となっています。

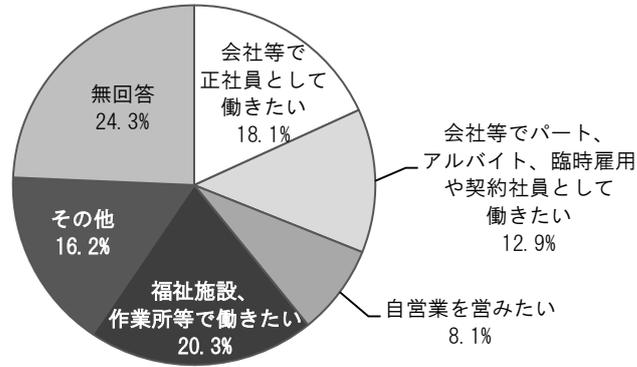
問28-2 今後利用したい福祉サービス



(5) 希望する将来の就労形態と必要と思われる就労環境について

将来の就労形態の希望は、「福祉施設、作業所等で働きたい」が20.3%で最も多く、次いで「会社等で正社員として働きたい」が18.1%、「会社等でパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい」が12.9%となっています。

問29 希望する将来の就労形態

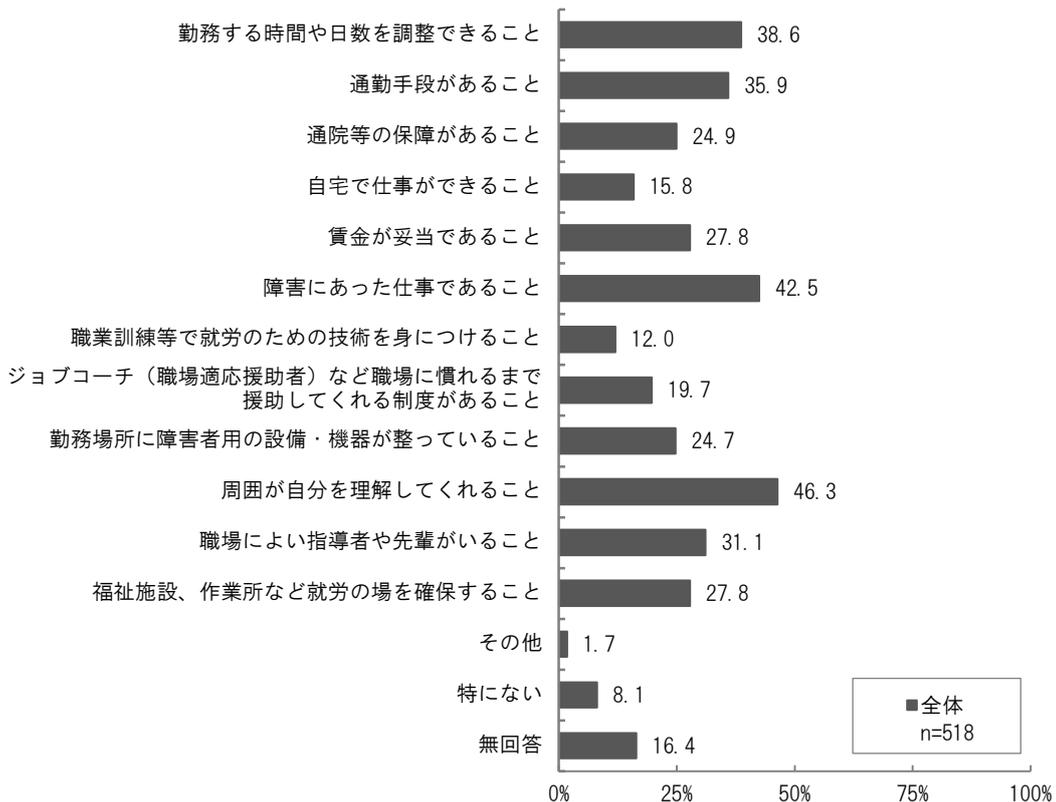


全体 n=518

(6) 働くために大切な環境

働くために大切な環境をみると、「周囲が自分を理解してくれること」(46.3%)が最も多く、次いで「障害にあった仕事であること」(42.5%)、「勤務する時間や日数を調整できること」(38.6%)となっています。

問30 働くために大切な環境

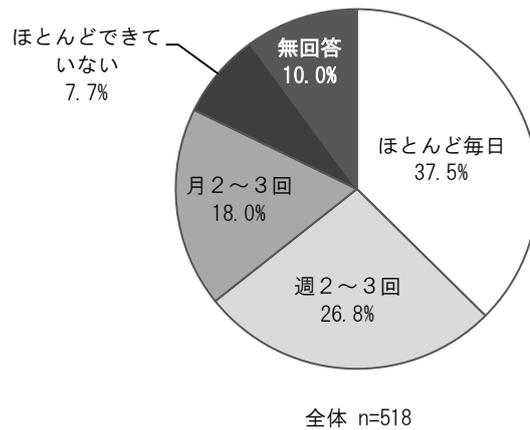


## 7 外出について

### (1) 外出状況について

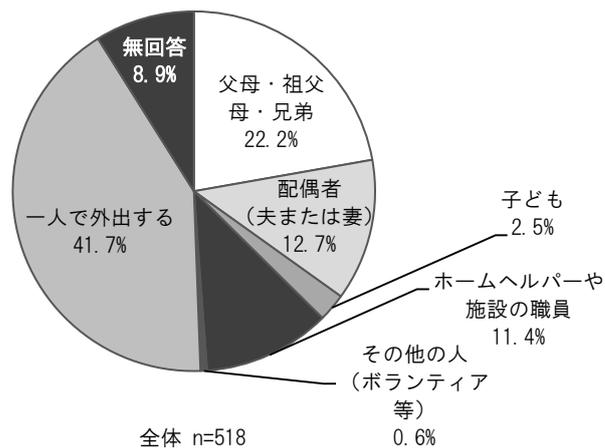
外出の頻度をみると、「ほとんど毎日」(37.5%)が最も多く、次いで「週2～3回」(26.8%)、「月2～3回」(18.0%)となっています。

問31 外出の頻度



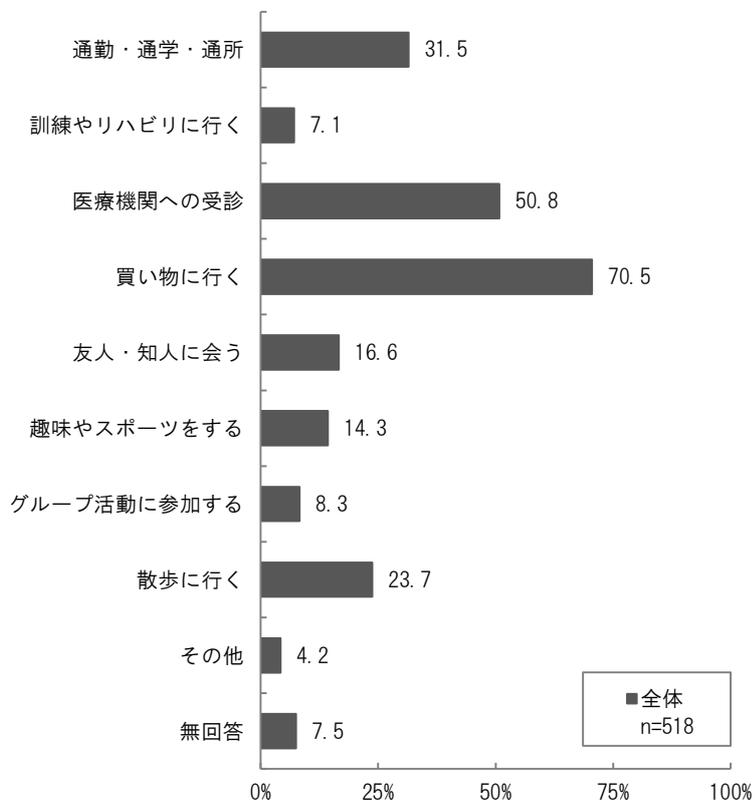
外出時の主な同伴者をみると、「一人で外出する」(41.7%)が最も多く、次いで「父母・祖父母・兄弟」(22.2%)、「配偶者(夫または妻)」(12.7%)となっています。

問32 外出時の主な同伴者



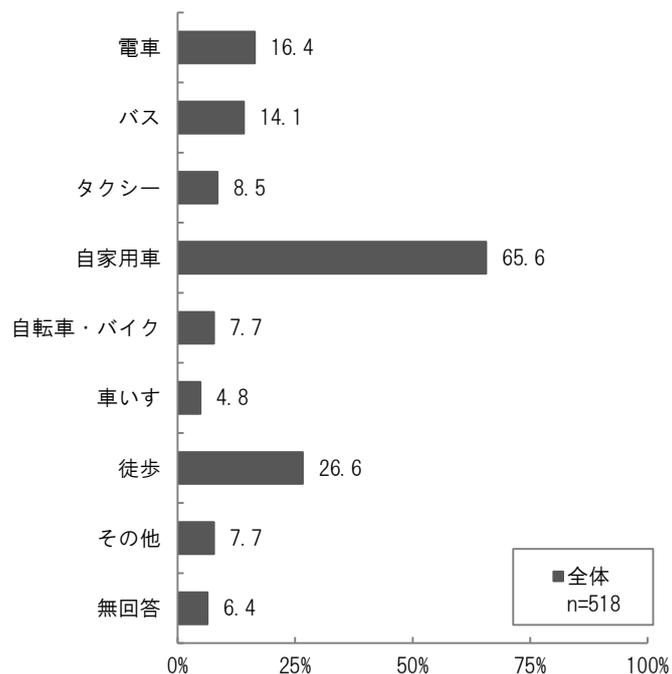
外出目的をみると、「買い物に行く」(70.5%)が最も多く、次いで「医療機関への受診」(50.8%)、「通勤・通学・通所」(31.5%)となっています。

問33 外出目的



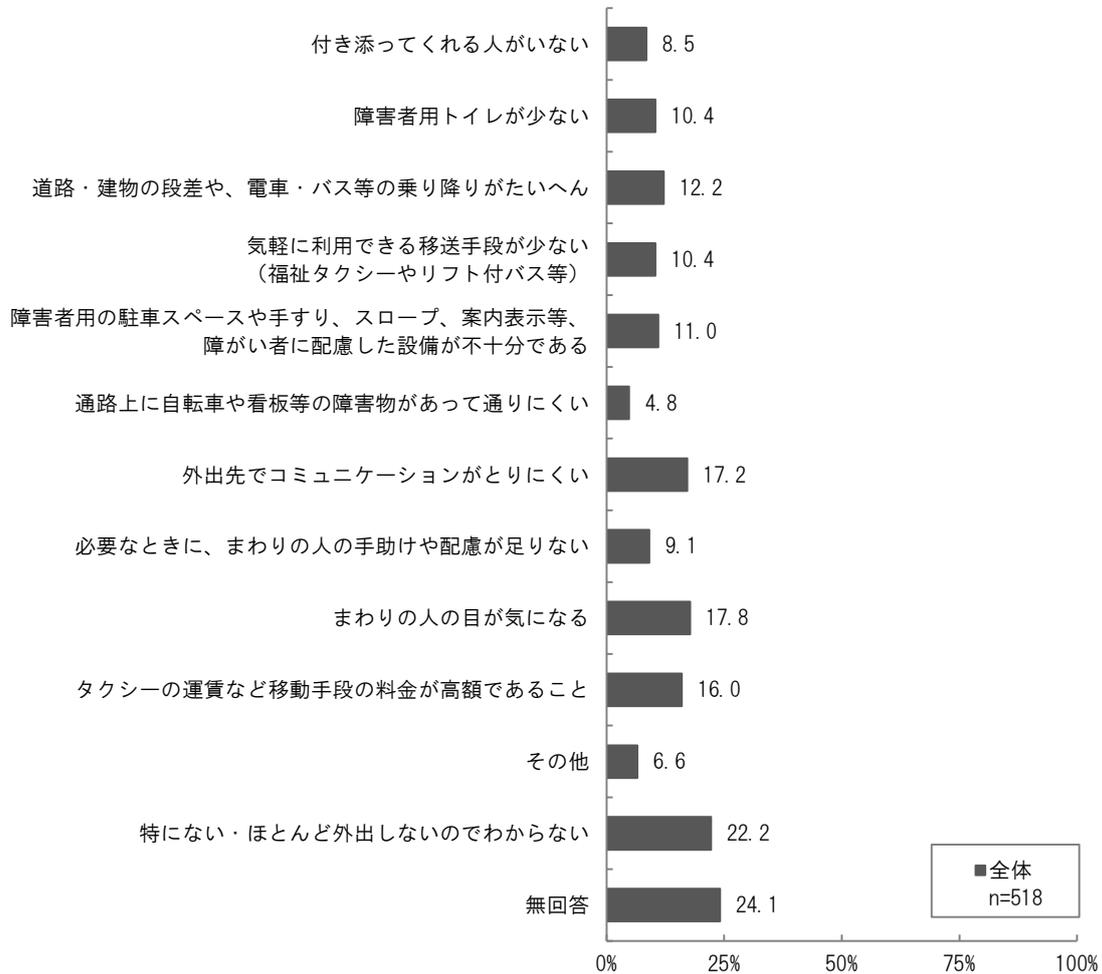
外出時の移動手段をみると、「自家用車」(65.6%)が最も多く、次いで「徒歩」(26.6%)、「電車」(16.4%)となっています。

問34 外出時の移動手段



外出時の不便や困難をみると、「特にない・ほとんど外出しないのでわからない」(22.2%)が最も多く、次いで「まわりの人の目が気になる」(17.8%)、「外出先でコミュニケーションがとりにくい」(17.2%)となっています。

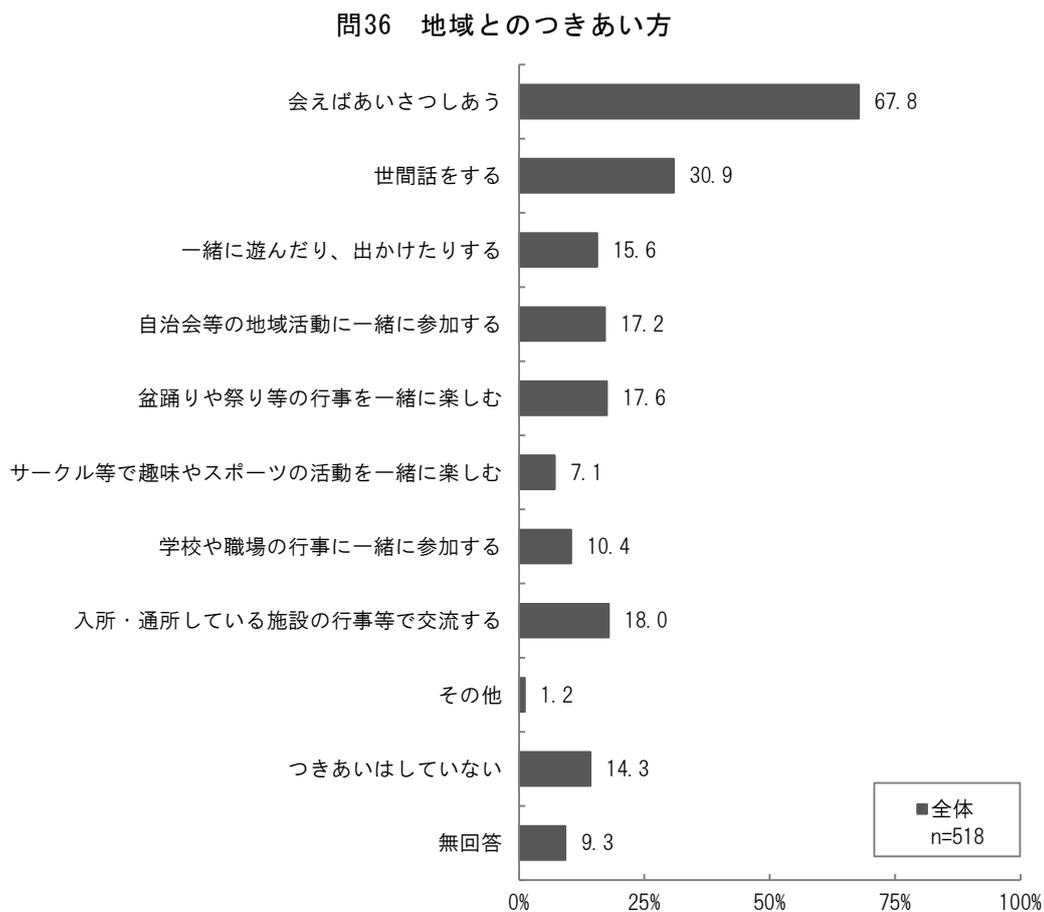
問35 外出時の不便や困難



## 8 社会参加や地域での生活について

### (1) 地域とのつきあい方

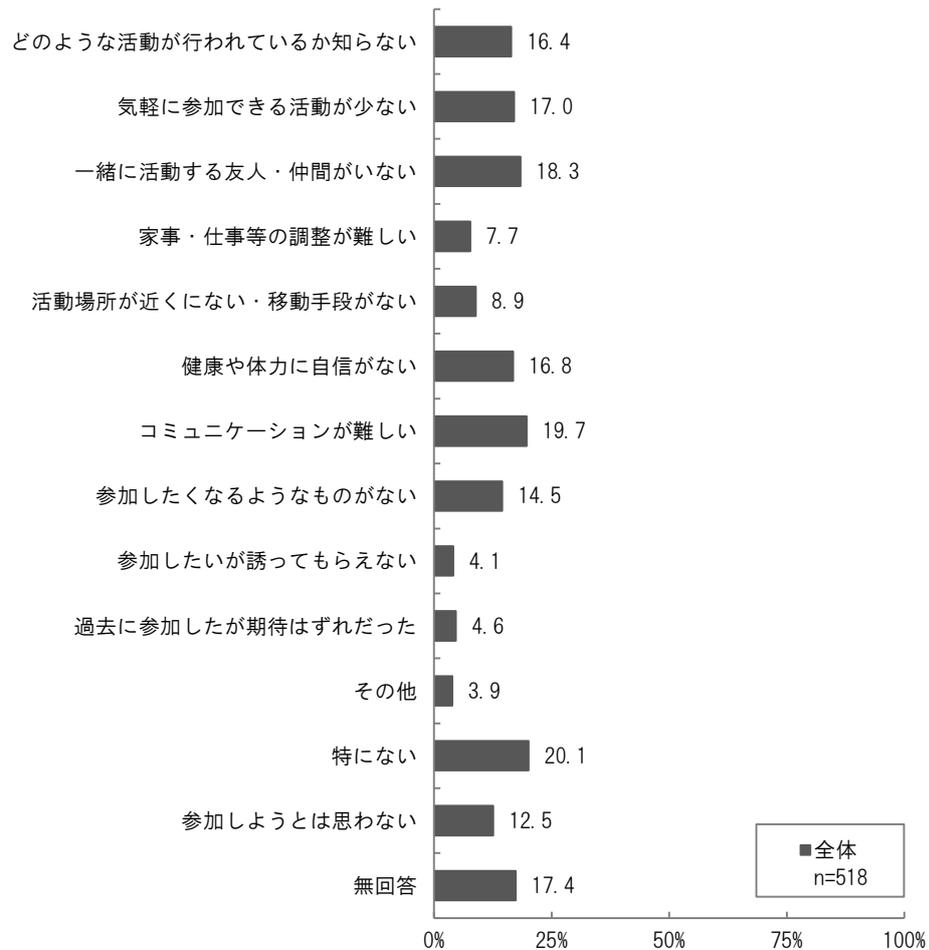
地域とのつきあい方をみると、「会えばあいさつしあう」(67.8%)が最も多く、次いで「世間話をする」(30.9%)、「入所・通所している施設の行事等で交流する」(18.0%)となっている一方で、「つきあいはしていない」は14.3%となっています。



## (2) 余暇活動等について

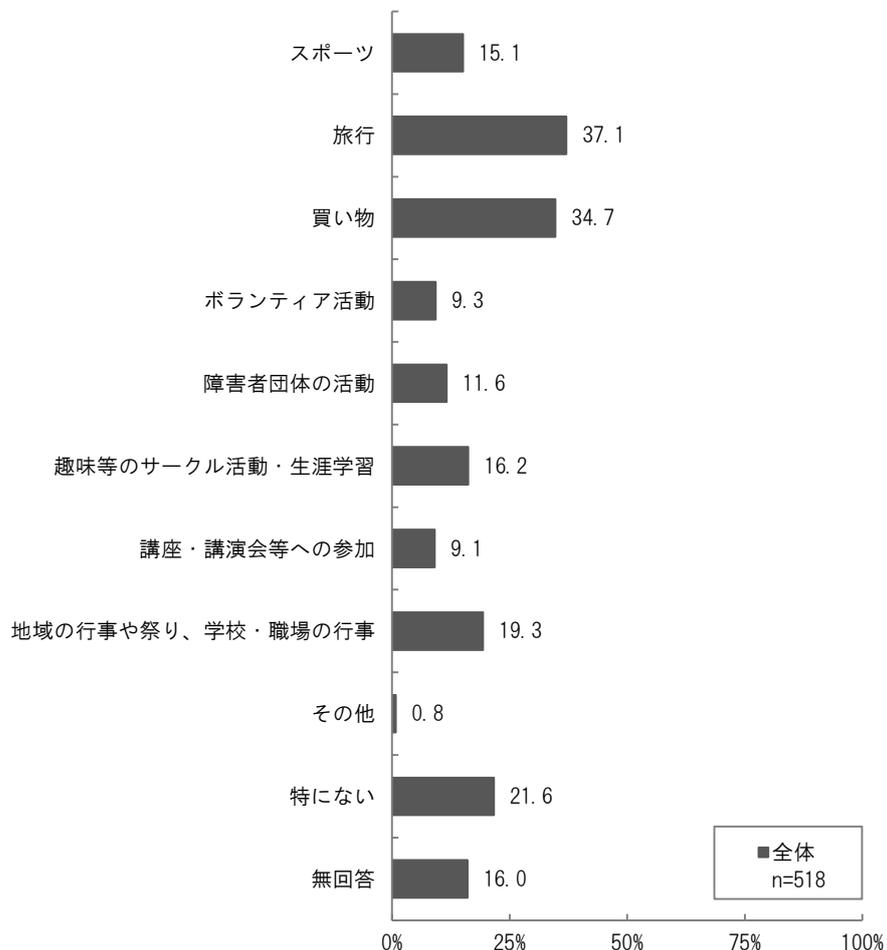
地域で行われる行事や活動に参加しようとした場合に、さまたげとなることをみると、「特にない」(20.1%)が最も多く、次いで「コミュニケーションが難しい」(19.7%)、「一緒に活動する友人・仲間がいない」(18.3%)、「気軽に参加できる活動が少ない」(17.0%)となっています。

問37 参加しようとした場合のさまたげになること



今後、余暇活動としてしたいと思う活動をみると、「旅行」(37.1%)が最も多く、次いで「買い物」(34.7%)、「特にない」(21.6%)、「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」(19.3%)となっています。

問38 今後余暇活動としてしたいと思うこと

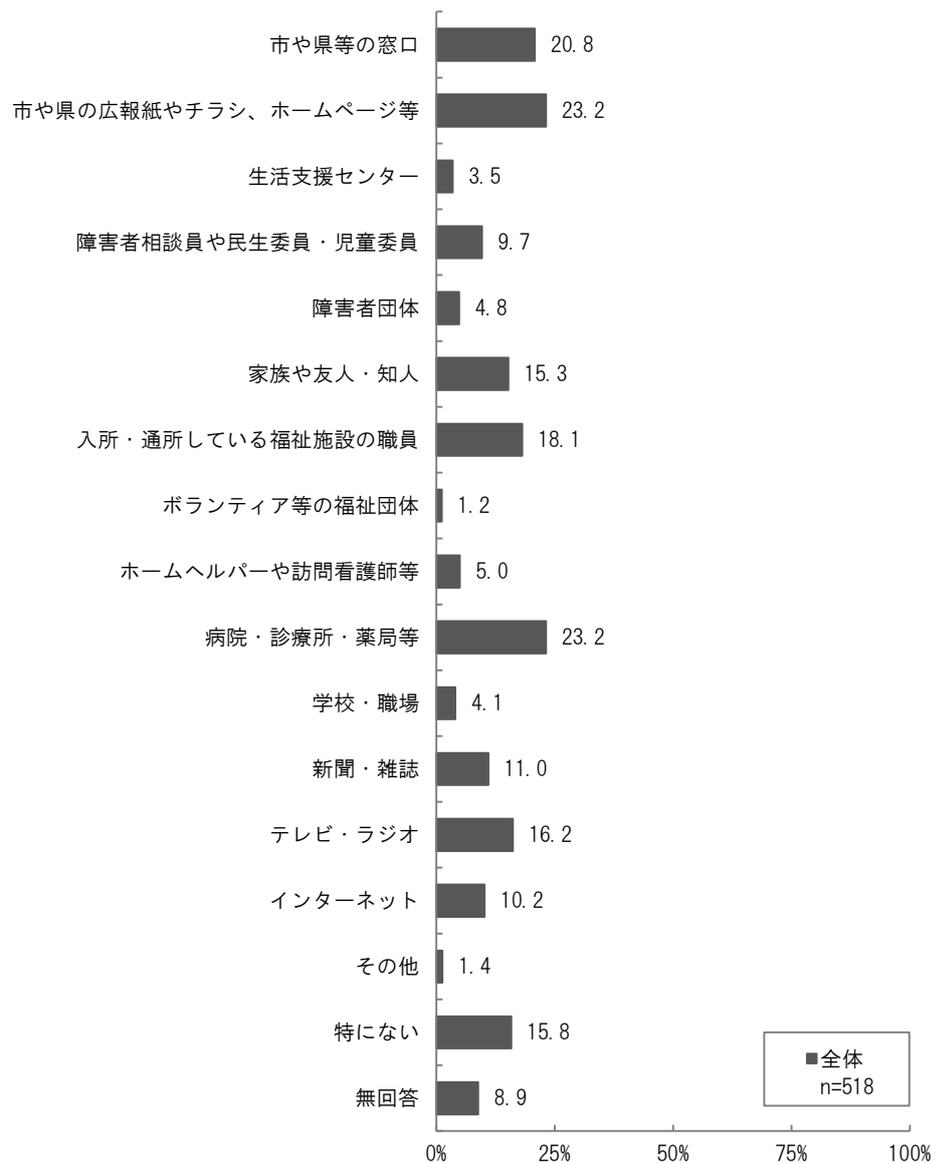


## 9 情報収集について

### (1) 福祉サービスや福祉制度に関する情報入手について

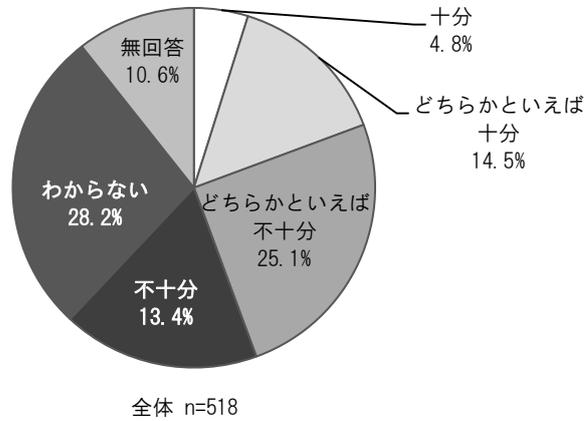
福祉サービスや福祉制度に関する情報源をみると、「市や県の広報紙やチラシ、ホームページ等」、「病院・診療所・薬局など」(各23.2%)が最も多く、次いで「市や県などの窓口」(20.8%)、「入所・通所している福祉施設の職員」(18.1%)、「テレビ・ラジオ」(16.2%)となっています。

問39 障害のことや福祉サービスなどに関する情報源



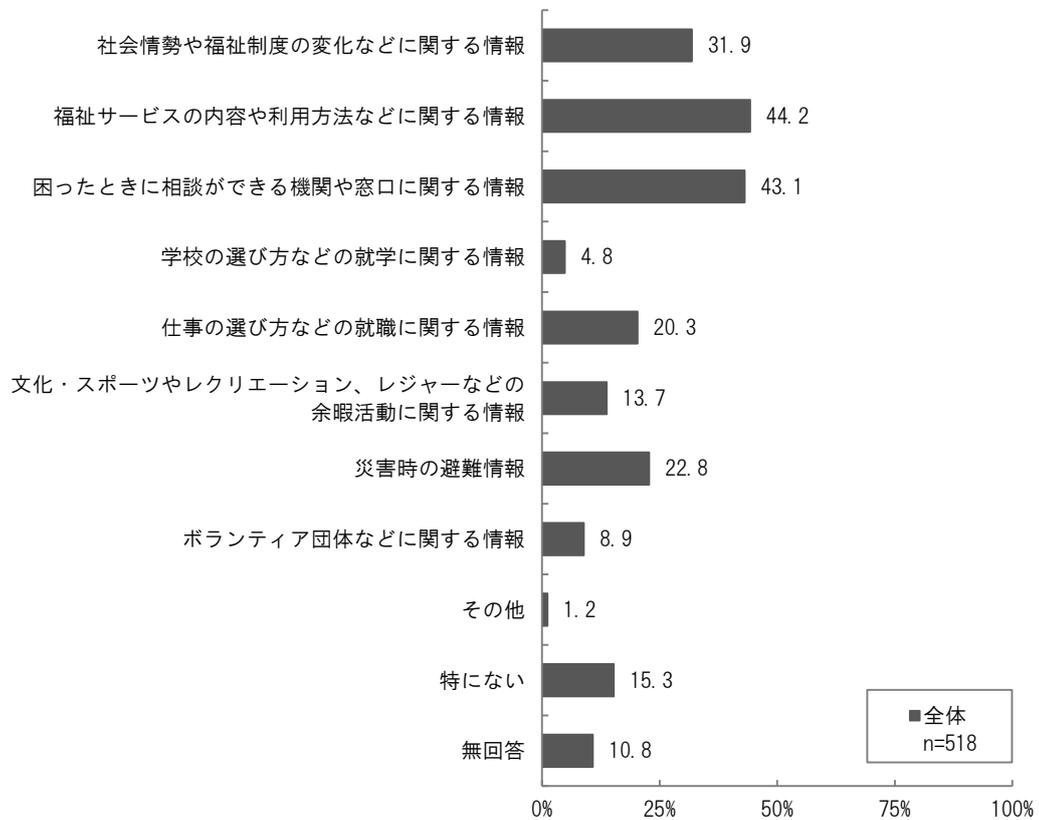
福祉に関する情報を十分に入手できているかをみると、「十分」と「どちらかといえは十分」を合わせて19.3%となっています。

問40 情報を十分に入できているか



今後、特に充実してほしい情報をみると、「福祉サービスの内容や利用方法等に関する情報」(44.2%)が最も多く、次いで「困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報」(43.1%)、「社会情勢や福祉制度の変化等に関する情報」(31.9%)となっています。

問41 今後、特に充実してほしい情報

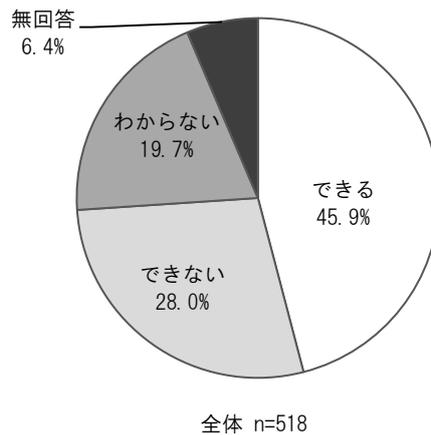


## 10 災害対策について

### (1) 災害対策について

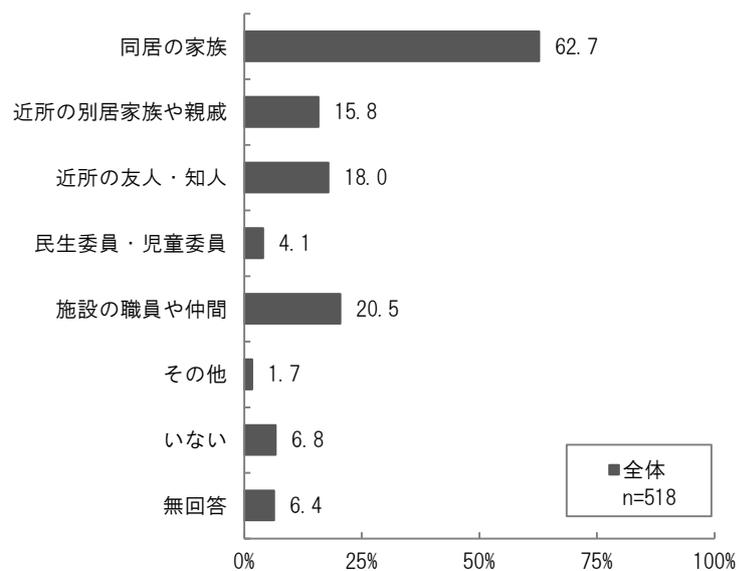
災害時に一人で避難できるかをみると、「できる」(45.9%)が最も多く、次いで「できない」(28.0%)、「わからない」(19.7%)となっています。

問42 災害時に一人で避難できるか



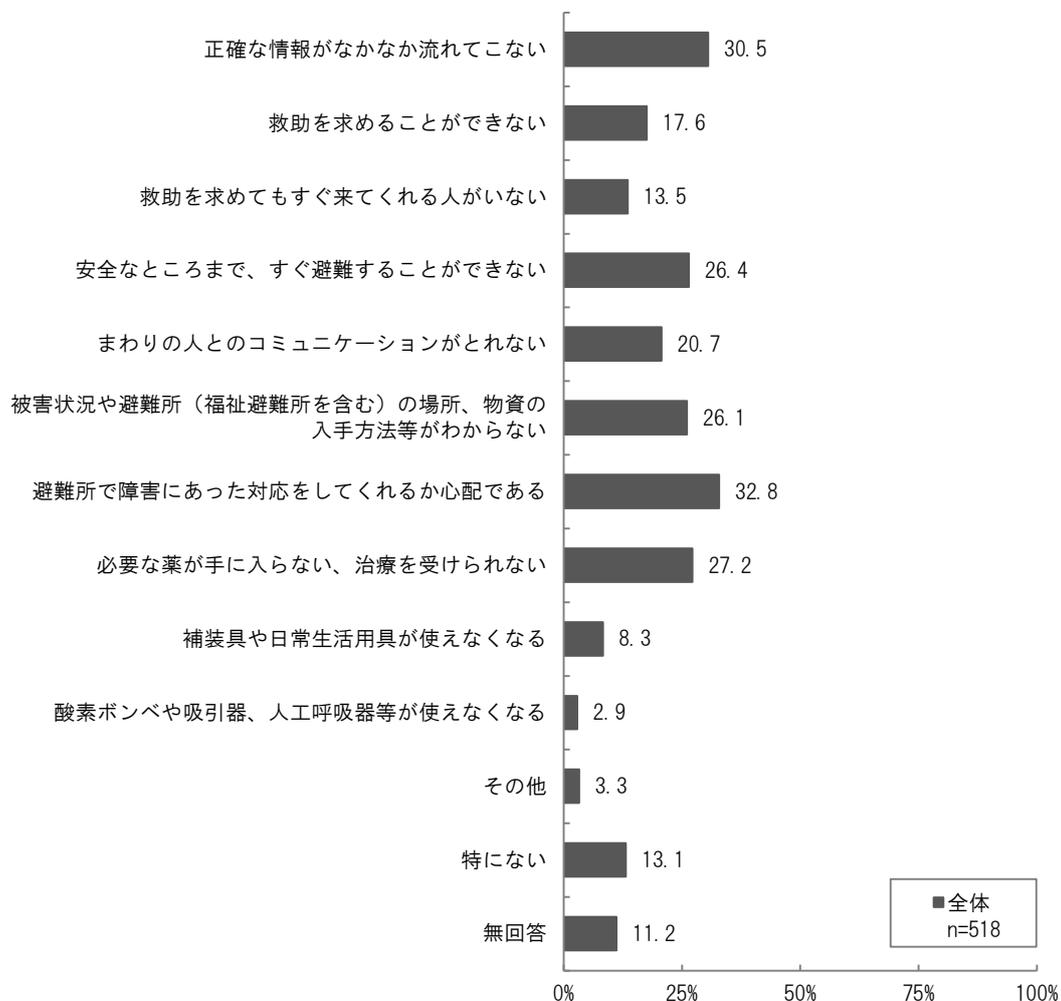
災害時に頼れる人をみると、「同居の家族」(62.7%)が最も多く、次いで「施設の職員や仲間」(20.5%)、「近所の友人・知人」(18.0%)、「近所の別居家族や親戚」(15.8%)となっている一方で、「いない」は6.8%となっています。

問43 災害時に頼れる人



災害時に心配なことをみると、「避難場所で障害にあった対応をしてくれるか心配である」(32.8%)が最も多く、次いで「正確な情報がなかなか流れてこない」(30.5%)、「必要な薬が手に入らない、治療を受けられない」(27.2%)となっています。

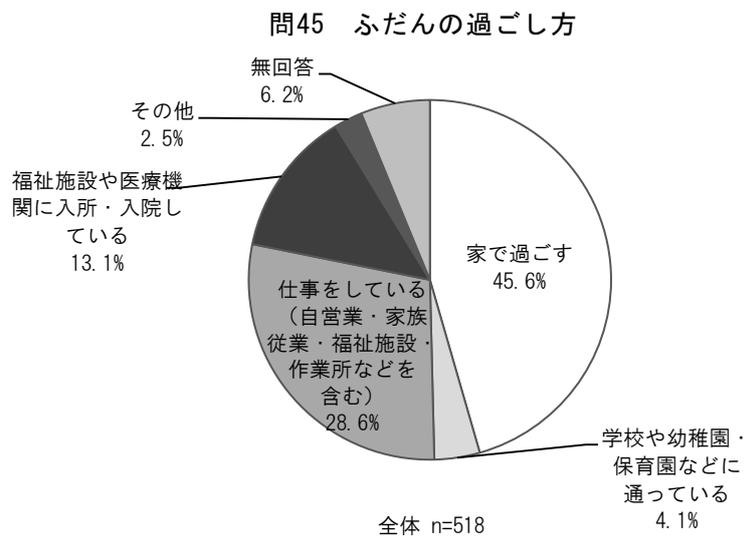
問44 災害時に心配なこと



## 11 生活全般について

### (1) ふだんの過ごし方について

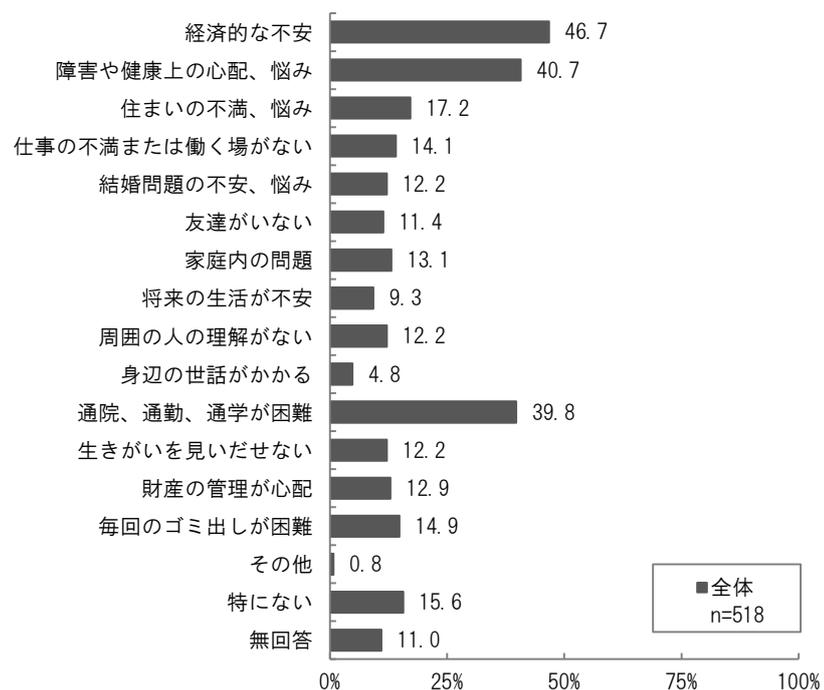
ふだんの過ごし方をみると、「家で過ごす」(45.6%)が最も多く、次いで「仕事をしている(自営業・家族従業者・福祉施設・作業所などを含む)」(28.6%)、「福祉施設や医療機関に入所・入院している」(13.1%)となっています。



### (2) 現在の生活の中で困っていること、将来に対する不安・悩みについて

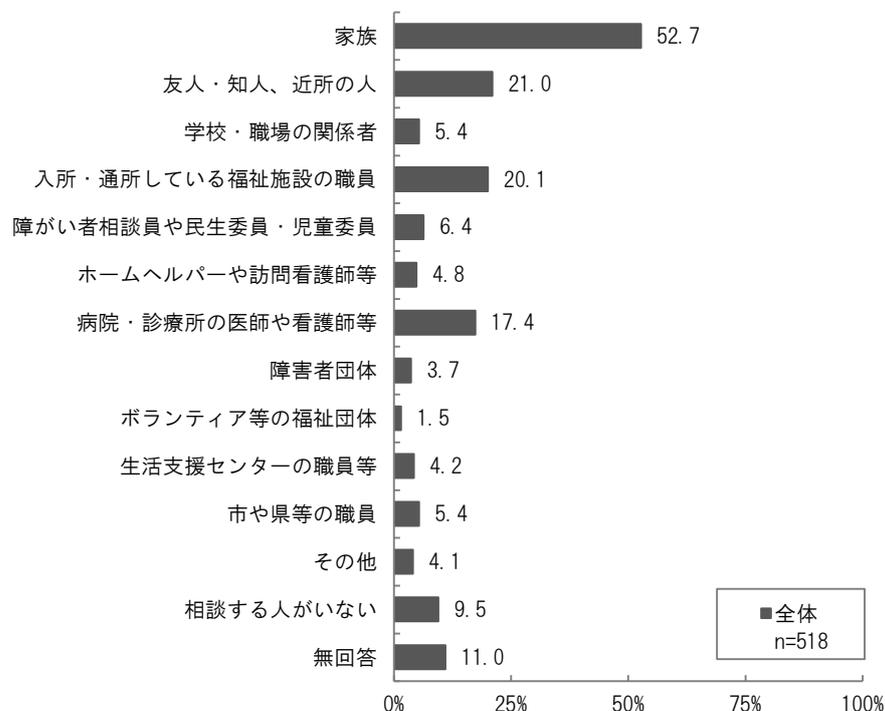
現在の生活の中で困っていること、将来に対する不安・悩みをみると、「経済的な不安」(46.7%)が最も多く、次いで「障害や健康上の心配、悩み」(40.7%)、「通院、通勤、通学が困難」(39.8%)となっています。

問46 生活の中で困っていること、不安・悩み



困っていることや将来に対する不安・悩みの相談先をみると、「家族」(52.7%)が最も多く、次いで「友人・知人、近所の人」(21.0%)、「入所・通所している福祉施設の職員」(20.1%)、「病院・診療所の医師や看護師等」(17.4%)となっています。

問47 生活の中で困っていること、不安・悩みの相談先

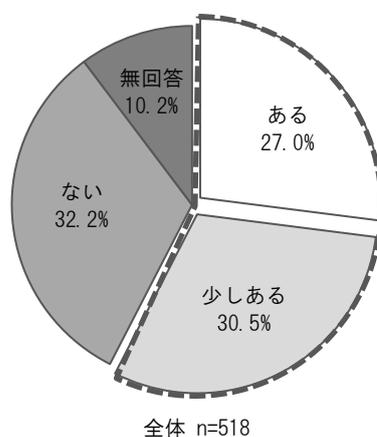


## 12 権利擁護について

### (1) 障害者の権利擁護について

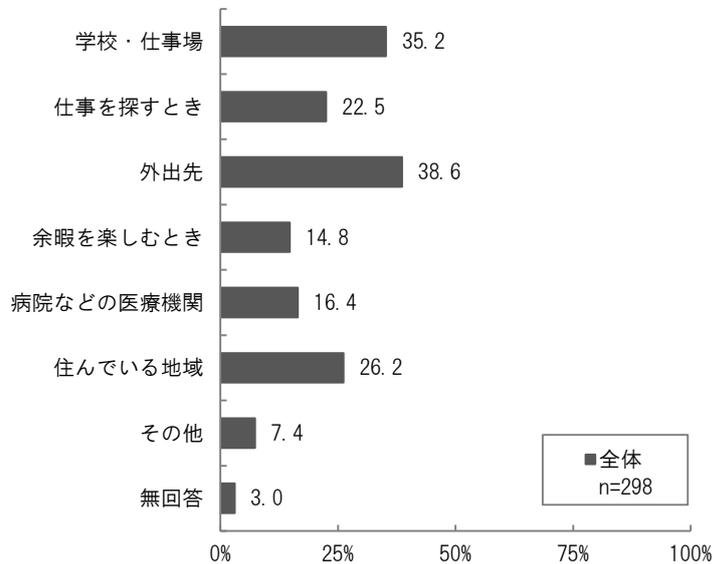
障害があることで差別やいやな思いをしたことがあるかでは、「ある」方は27.0%、「少しある」方が30.5%となり、差別やいやな思いをしたことがある方が6割弱となっています。

問48 障害があることで差別やいやな思いをしたことがあるか



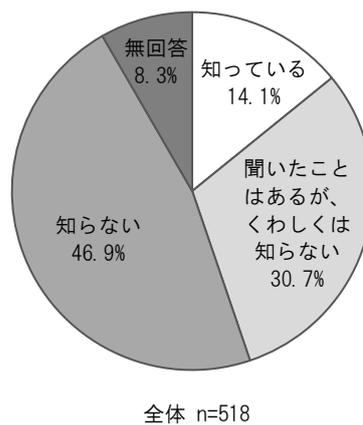
どのような場所で差別やいやな思いをしたかをみると、「外出先」(38.6%)が最も多く、次いで「学校・仕事場」(35.2%)、「住んでいる地域」(26.2%)、「仕事を探するとき」(22.5%)となっています。

問49 どのような場所で差別やいやな思いをしたか



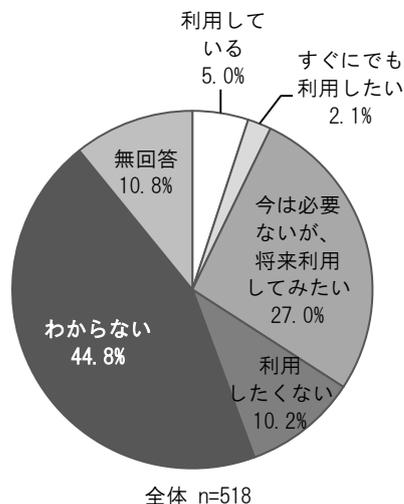
日常生活自立支援事業や成年後見制度の周知状況をみると、「知らない」(46.9%)が最も多く、次いで「聞いたことはあるが、くわしくは知らない」(30.7%)、「知っている」(14.1%)となっています。

問50 日常生活自立支援制度・成年後見制度の周知状況



日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用意向をみると、「わからない」(44.8%)が最も多く、次いで「今は必要ないが、将来利用してみたい」(27.0%)、「利用したくない」(10.2%)となっています。

問51 日常生活自立支援制度・成年後見制度の利用意向

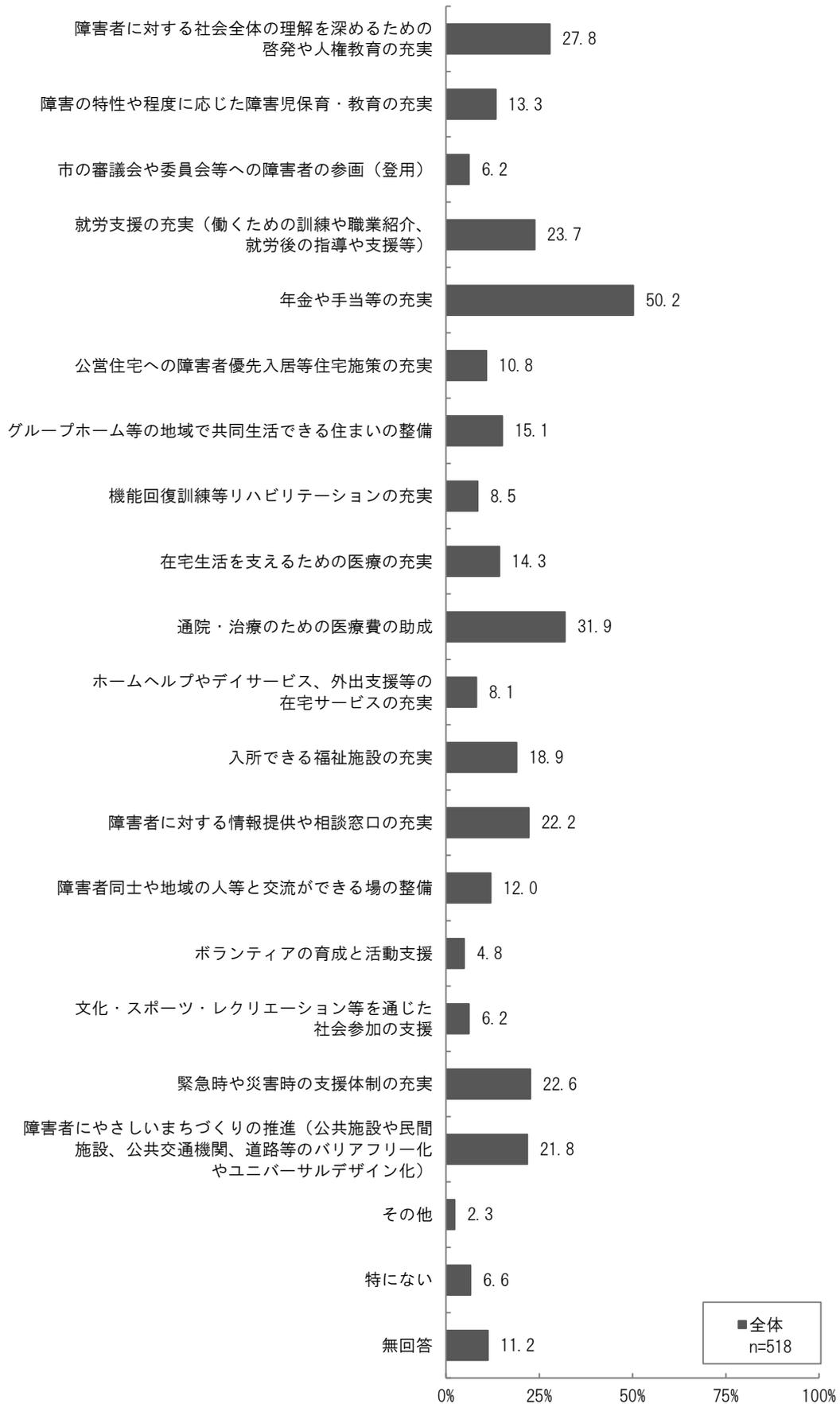


### 13 田村市の障害福祉サービスや行政の取組について

#### (1) 障害福祉サービスや行政の取組について

障害者に対する支援として充実すべきことをみると、「年金や手当等の充実」(50.2%)が最も多く、次いで「通院・治療のための医療費の助成」(31.9%)、「障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」(27.8%)、「就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)」(23.7%)、「緊急時や災害時の支援体制の充実」(22.6%)、「障害者に対する情報提供や相談窓口の充実」(22.2)となっています。

問52 障害者支援として充実すべきこと





# 資料編



# 1 調査票

## (1) 調査票

たむらし  
田村市  
せいかつ ふくし  
生活と福祉に関するニーズ調査  
ちようさ

### 【調査ご協力をお願い】

白旗から田村市の福祉向上にご協力をいただきまして、ありがとうございます。  
田村市では、現在、平成30年度を初年度とする第5期障害福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるためのニーズ調査を実施することになりました。

なお、この調査はお名前を書く必要はなく、調査結果は「回答者の何%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理のみ使用します。したがって、回答者のお名前や回答の内容がほかの人に知られることはありませんので、安心してお答えください。また、答えにくい質問があった場合には、その質問を回答しなくても構いません。お忙しいところお手数をかけたいと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年8月

田村市長 本田 仁一

# 資料編

◎この調査票を記入する方はどなたですか。(○は1つだけ)

- 1 本人      2 家族      3 その他 (      )

※これ以降、この調査票が郵送されたあて名の方を「あなた」とお呼びします。ご本人(この調査票の対象者：障害のある方)の状況などについて、お答えください。

**あなた自身のことについておたずねします**

問1 あなたの性別、年齢、お住まいの地区についておたずねします。

(1) 性別	1 男性	2 女性
(2) 年齢	満 (      ) 歳 (平成29年8月1日現在)	
(3) お住まいの地区	1 滝根    2 大越    3 都路    4 常葉    5 船引	6 その他 (      )

問2 あなたの現在の住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

- 1 福祉施設 (入所施設)  
 2 自分や家族の持ち家  
 3 民間の借家や賃貸アパート・マンションなど  
 4 市営・県営住宅、公社・公園住宅  
 5 社宅や会社の寮、官公舎などの住宅  
 6 グループホームなどの共同生活ができる住まい  
 7 その他 (      )

問3 家族構成をお聞きます。施設に入所している方は、実家の状態をお答えください。(○は1つだけ)

- 1 ひとり暮らし      2 夫婦のみ  
 3 2世代世帯 (親と子など)      4 3世代世帯 (親と子と孫など)  
 5 その他の世帯 (      )

問4 あなたを介助 (介護) している方 (ご家族など) はいいますか。(○は1つだけ)

- 1 いる      2 いない

**記入にあたってのご注意**

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。なお、あて名のご本人が18歳未満の方については、保護者の方にお答えいただく質問もありますので、ご注意ください。
- ご本人が回答や記入することが難しい場合は、主に介助されている方や、ご家族の方がご本人と相談したり、ご本人の立場になってお答えください。
- 鉛筆またはボールペンで記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が完了したら、**9月15日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください(住所やお名前を書く必要はありません)。

【調査に関するお問い合わせ先】  
 田村市 保健福祉部 介護福祉課 障害福祉係  
 電話：0247-82-1115  
 FAX：0247-82-6003

問10 どのような障害をお持ちですか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 視覚障害
- 2 聴覚障害又は平衡機能障害
- 3 音声・言語・そしゃく機能障害
- 4 肢体不自由(上肢、下肢、体幹機能)
- 5 内部障害(心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、その他)
- 6 知的障害
- 7 自閉症・自閉的傾向
- 8 てんかん(脳波異常)
- 9 ダウン症
- 10 脳性麻痺
- 11 統合失調症
- 12 そうつ病・うつ病
- 13 アルコール依存症
- 14 神経症(不安神経症・強迫神経症等)
- 15 その他( )

問11 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

※難病(特定疾患)とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

- 1 受けている
- 2 受けていない

問12 これまで発達障害として診断されたことはありますか。(○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

問13 これまで高次脳機能障害として診断されたことはありますか。(○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

【問4で「1 いる」に○をつけた方におたずねします】

問5 主に介助(介護)をしている方はどなたですか。障害のある方からみた関係をお答えてください。(○は1つだけ)

- 1 夫、妻
- 2 親
- 3 子ども(子どもの配偶者を含む)
- 4 兄弟・姉妹
- 5 その他の家族
- 6 友人・知人
- 7 その他( )

問6 主に介助(介護)をしている方の性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- 1 男性
- 2 女性

問7 主に介助(介護)をしている方の年齢は何歳くらいですか。(○は1つだけ)

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代  |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

問8 主に介助(介護)をしている方(ご家族など)の身体的な健康状態はいかがですか。(○は1つだけ)

- 1 特に病気などなく健康である
- 2 ほとんどなく体調がすぐれない
- 3 病弱である
- 4 病气やアガがあり、現在通院または入院している

【問9】  
障害などの状態についておたずねします

問9 お持ちの手帳、支給者証とその等級などについておたずねします。(○はお持ちの手帳等級や支給者証などあてはまるものすべて)

身体障害者手帳	⇒ 1 1級	2 2級	3 3級
療育手帳	⇒ 4 4級	5 5級	6 6級
精神障害者保健福祉手帳	⇒ 7 A	8 B	
	⇒ 9 1級	10 2級	11 3級

問15 あなたは現在、医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

- 1 通院 ( 回程度/月)
- 2 往診 ( 回程度/月)
- 3 入院中
- 4 かかっていない

問16 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(○はあてはまるものすべて)

- 1 気管切開
- 2 人工呼吸器 (レスピレーター)
- 3 吸入
- 4 吸引
- 5 胃ろう・腸ろう
- 6 鼻経管栄養
- 7 中心静脈栄養 (VH)
- 8 透析
- 9 カテーテル留置
- 10 ストマ (人工肛門・人工膀胱)
- 11 服薬管理
- 12 その他 ( )

問17 公費負担医療制度を利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 更生医療 (自立支援)
- 2 育成医療 (自立支援)
- 3 精神通院医療 (自立支援)
- 4 特定疾患治療研究事業による医療費助成制度
- 5 小児特定疾患治療研究事業による医療費助成制度
- 6 生活保護による医療扶助
- 7 重度心身障害者医療費助成制度
- 8 その他 ( )
- 9 利用したいが、該当しないため利用できない
- 10 利用していない (9に○をつけた場合を除く)

保健・医療・介護についておたずねします

問14 おおむねこの6ヶ月の間の日常生活を送る上で、支障はどのようなものですか。

あてはまる状態に○をつけてください。(○はそれぞれ一つだけ)

項目	一人でできる (やればできる)	少し時間が かかる一人で できる	一部援助・声かけが 必要	全面的に援助が 必要
1 食事をとる	1	2	3	4
2 入浴する	1	2	3	4
3 トイレ	1	2	3	4
4 身だしなみ	1	2	3	4
5 着替え	1	2	3	4
6 調理	1	2	3	4
7 買い物	1	2	3	4
8 掃除や片付け	1	2	3	4
9 洗濯	1	2	3	4
10 金銭管理	1	2	3	4
11 電話・FAXの 対応	1	2	3	4
12 屋内の移動	1	2	3	4
13 屋外の移動	1	2	3	4
14 意思の伝達	1	2	3	4
15 説明の理解	1	2	3	4
16 通院	1	2	3	4
17 服薬の管理	1	2	3	4

**福祉サービスについておたずねします**

問21 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)  
 ※障害支援区分は「福祉サービス受給者証」で確認できます。

1 区分1	2 区分2	3 区分3	4 区分4
5 区分5	6 区分6	7 区分7	

問22 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。  
 ①から⑥のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に○）してください。

	現在利用しているか 利用している	今後利用したいか 利用しない	利用した	利用しない
①居宅介護（ホームヘルプ） 自宅での入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3	4
②重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要なのに、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	3	4
③同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出時に必要な情報の提供や移動の援助などを行うサービスです。	1	2	3	4
④行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動する時に必要な介助や外出時の移動などの補助などを行うサービスです。	1	2	3	4
⑤重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	3	4

問18 健康管理や医療について、困ったり不便なことはありませんか。  
 (○はあてはまるものすべて)

- |                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1 近所に診てくれる医師がいない                |     |
| 2 専門的な治療を行っている医療機関が身近にない        |     |
| 3 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない        |     |
| 4 診療を断られる                       |     |
| 5 気軽に往診を頼める医師がいない               |     |
| 6 定期的に健康診断を受けられない               |     |
| 7 障害のため症状が正確に伝えられず、必要な治療が受けられない |     |
| 8 受診手続きや案内など障害者への配慮が不十分         |     |
| 9 医療費の負担が大きい                    |     |
| 10 その他                          | ( ) |
| 11 特にない                         |     |

問19 介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1 利用している                     |  |
| 2 利用したが、要介護認定を受けていないため利用できない |  |
| 3 利用していない(2に○をつけた場合を除く)      |  |

【問19で「1 利用している」に○をつけた方におたずねします】

問20 該当する要介護度に○をつけて下さい。(○は1つだけ)

1 要支援1	2 要支援2	3 要介護1	4 要介護2
5 要介護3	6 要介護4	7 要介護5	

現在利用しているか 利用して いる	今後利用したいか 利用した い
⑥生活介護 施設などで常に介護が必要な方に、入浴や排せつ、食事の介護や日中活動などの機会を提供するサービスです。	1 2 3 4
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1 2 3 4
⑧就労移行支援 通常の職場所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行うサービスです。	1 2 3 4
⑨就労継続支援（A型、B型） 通常の職場所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1 2 3 4
⑩療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	1 2 3 4
⑪短期入所（ショートステイ） 在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場などに、障害者が施設に短期間入所し入浴、排せつ、食事などの介護を行うサービスです。	1 2 3 4
⑫共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1 2 3 4

現在利用しているか 利用して いる	今後利用したいか 利用した い
⑬施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、入浴、排せつ、食事などの介護を行うサービスです。	1 2 3 4
⑭相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報提供や助言などを行うサービスです。	1 2 3 4
⑮児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1 2 3 4
⑯放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1 2 3 4
⑰保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1 2 3 4
⑱医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1 2 3 4

問24 あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できると思えますか。  
(〇は3つまで)

- 1 周囲の介護を頼める人がいること
- 2 夜間の介護を頼める人がいること
- 3 食事の心配をしなくていいこと(配食サービスがあるなど)
- 4 掃除や洗濯などの家事の手伝いを頼める人がいること
- 5 デイサービスや共同作業所などに通えること
- 6 ショートステイなど緊急時に宿泊できるところがあること
- 7 カイトヘルパーやリフト付自動車・寝台車などの外出支援のサービスがあること
- 8 主治医や医療機関が近くにあること
- 9 生活するのに十分な収入があること
- 10 家族と同居できること
- 11 グループホームなどの仲間と共同生活できる場があること
- 12 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
- 13 地域に働ける場所があること
- 14 その他( )
- 15 様にな

**就学・就労状況についておたずねします**

問25 現在、あなたは働いていますか。(〇は1つだけ)

- 1  働いている → 問27-1へお進みください
- 2  働いていない

問26へお進みください

	現在利用しているか 利用している	今後利用したいか 利用したい	今後利用したいか 利用しない
⑨福祉型児童入所支援 福祉型児童入所施設に入所する障害児 に対して、保健・日常生活の指導や知識 技能の付与を行うサービスです。	1	2	3 4
⑩医療型児童入所支援 児童入所施設や指定医療機関に 入所等をする障害児に対して、保健・ 日常生活の指導や知識技能の付与や 治療を行うサービスです。	1	2	3 4

**将来の住まいについておたずねします**

問23 あなたは将来、どこで暮らしたいですか。(〇は1つだけ)

- 1  自宅で生活したい
- 2  福祉施設・介護保険施設で生活したい
- 3  グループホームなどで共同生活したい
- 4  その他( )

【問27-3】仕事のことで悩んでいることや困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 収入が足りない
- 2 通院や療養・障害を理由に休みを取ることが難しい
- 3 勤務時間の長さや時間帯が自分にあわない
- 4 仕事の内容が自分にあわない
- 5 仕事の内容を変えるのがたいへん
- 6 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
- 7 障害への理解が得にくく、人間関係がむずかしい
- 8 職場の設備が障害者にあっていないため使いにくい
- 9 職場までの通勤がたいへん
- 10 障害がない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある
- 11 その他 ( )
- 12 特になし

【問28】お子さまは、現在、どの学校に通っていますか。(○は1つだけ)

- 1 小・ろう学校・特別支援学校(小・中・高等部)
- 2 小・中学校の特別支援学級
- 3 小・中学校の普通学級
- 4 通級指導教室に通いつつ普通学級
- 5 高等学校
- 6 専門学校・職業訓練校など
- 7 その他 ( )

【問25】「2 働いていない」に○をつけた方におたずねします

- 1 働くところがないため
- 2 自分にあった仕事がないため
- 3 病気のため
- 4 通勤が困難なため
- 5 高齢又は就労年齢に達しないため
- 6 重度の障害のため働くことができないため
- 7 家事に専念するため
- 8 働ける自信がないため
- 9 今の生活に満足しているため
- 10 差別や偏見があるため
- 11 働きたくないため
- 12 学校に通っているため
- 13 その他 ( )

問28へお進みください

【問27-3】「1 働いている」に○をつけた方におたずねします

- 1 会社などで正社員として働いている
- 2 会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働いている
- 3 自営業を営んでいる
- 4 福祉施設、作業所などで働いている
- 5 その他 ( )

【問27-1】ひと月に何日程度働いていますか。

日数 ( ) 日程度/月 )

【問27-2】仕事によるあなたの一ヶ月の収入はいくらですか。(○は1つだけ)

- 1 5千円未満
- 2 5千円～1万円未満
- 3 1万円～5万円未満
- 4 5万円～10万円未満
- 5 10万円～20万円未満
- 6 20万円～30万円未満
- 7 30万円以上

【ふたたび、すべての方におたずねします】

問29 将来、あなたはどのような働き方を希望しますか。(〇は1つだけ)

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | 会社などで社員として働きたい                  |
| 2 | 会社などでパート、アルバイト、臨時雇用や契約社員として働きたい |
| 3 | 自営業を営みたい                        |
| 4 | 福祉施設、作業所などで働きたい                 |
| 5 | その他( )                          |

問30 障害者が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)

- |    |                                          |
|----|------------------------------------------|
| 1  | 勤務する時間や日数を調整できること                        |
| 2  | 通勤手段があること                                |
| 3  | 通院等の保障があること                              |
| 4  | 自分で仕事ができること                              |
| 5  | 賃金が妥当であること                               |
| 6  | 障害にあった仕事であること                            |
| 7  | 職業訓練等で就労のための技術を身につけること                   |
| 8  | *ジョブコーチ(職場適応援助者)など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること |
| 9  | 勤務場所に障害者の設備・機能が整っていること                   |
| 10 | 周囲が自分を理解してくれること                          |
| 11 | 職場によい指導者や先輩がいること                         |
| 12 | 福祉施設、作業所など就労の場を確保すること                    |
| 13 | その他( )                                   |
| 14 | 持にない                                     |

\*ジョブコーチ(職場適応援助者)とは、障害のある方の働いている職場へ行き、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ちなどをお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受け入れ体制整備等の助言も行います。

問28-1 将来、日中をどこで(どのように)過ごしたいですか。就労先を考慮してお答えください。(〇は1つだけ)

- |    |                    |
|----|--------------------|
| 1  | 高等学校               |
| 2  | 盲・ろう学校・特別支援学校(高等部) |
| 3  | 専門学校・職業訓練校など       |
| 4  | 短期大学・大学            |
| 5  | 自営業                |
| 6  | 家族の手伝い・内職          |
| 7  | 会社などに勤める           |
| 8  | 病院などのケア            |
| 9  | 通所入所などの社会福祉施設      |
| 10 | その他( )             |
| 11 | わからぬ               |

問28-2 今後利用したい福祉サービスはどれですか。(〇は3つまで)

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 | ホームヘルパーの派遣       |
| 2 | 短期入所(ショートステイ)    |
| 3 | 権利の擁護や財産管理に関する支援 |
| 4 | 休日や夜間の相談支援       |
| 5 | 持にない             |
| 6 | その他( )           |

問35 外出するとき、あなたはどのようなことに不便や困難を感じることがありますか。  
(○はあてはまるものすべて)

- 1 付き添ってくれる人がいない
- 2 障害用トイレが少ない
- 3 道路・建物の段差や、電車・バスなどの乗り降りがたいへん
- 4 気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーやリフト付バスなど)
- 5 障害者の駐車スペースや手すり、スロープ、案内板等、障害者に配慮した設備が不十分である
- 6 道路上に自転車や看板等の障害物があって通りにくい
- 7 外出先でコミュニケーションがとりにくい
- 8 必要ときに、まわりの人の手助けや配慮が足りない
- 9 まわりの人の目が気になる
- 10 タクシーの運賃など移動手段の料金が高額であること
- 11 その他 ( )
- 12 特にない・ほとんど外出しないのでわからない

**社会参加や地域での生活についておたずねします**

問36 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。  
(○はあてはまるものすべて)

- 1 会えばあいさつしあう
- 2 世間話をする
- 3 一緒に遊んだり、出かけたりする
- 4 自治会などの地味活動と一緒に参加する
- 5 盆踊りや祭りなどの行事と一緒に楽しむ
- 6 サークルなどで趣味やスポーツの活動を一緒に楽しむ
- 7 学校や職場の行事と一緒に参加する
- 8 入所・通所している施設の行事などで交流する
- 9 その他 ( )
- 10 つきあいはしていない

**外出についておたずねします**

問31 あなたは、ふだん、どのくらい外出できていますか。(○は1つだけ)  
※家族やガイドヘルパー等の付き添い(外出支援)が必要な方は、付き添いがある状態としてお答えください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週2~3回
- 3 月2~3回
- 4 ほとんどできていない

問32 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

- 1 父母・祖母・兄弟姉妹
- 2 夫、妻
- 3 子ども
- 4 ホームヘルパーや施設の職員
- 5 その他の人(ボランティアなど)
- 6 一人で外出する

問33 あなたはどのような目的で外出することが多いですか。  
(○はあてはまるものすべて)

- 1 通勤・通学・通所
- 2 訓練やリハビリに行く
- 3 医療機関への受診
- 4 買い物に行く
- 5 友人・知人に会う
- 6 趣味やスポーツをする
- 7 グループ活動に参加する
- 8 散歩に行く
- 9 その他 ( )

問34 外出の時は何を利用しますか。(○はあてはまるものすべて)

- 1 電車
- 2 バス
- 3 タクシー
- 4 自家用車
- 5 自転車・バイク
- 6 車いす
- 7 徒歩
- 8 その他 ( )

**情報収集についておたずねします**

問39 福祉サービスや福祉制度の情報をご存知ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- |    |                  |    |                      |
|----|------------------|----|----------------------|
| 1  | 市や県などの窓口         | 2  | 市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど |
| 3  | 生活支援センター         | 4  | 障害者相談員や民生委員・児童委員     |
| 5  | 障害者団体            | 6  | 家族や友人、知人             |
| 7  | 入所・通所している福祉施設の職員 | 8  | ボランティアなどの福祉団体        |
| 9  | ホームヘルパーや訪問看護師など  | 10 | 病院・診療所・薬局・薬局など       |
| 11 | 学校・職場            | 12 | 新聞・雑誌                |
| 13 | テレビ・ラジオ          | 14 | インターネット              |
| 15 | その他 ( )          | 16 | 特になし                 |

問40 福祉に関する情報を十分に入手できていますか。(〇は1つだけ)

- |   |             |   |            |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | 十分          | 2 | どちらかといえば十分 |
| 3 | どちらかといえば不十分 | 4 | 不十分        |
| 5 | わからない       |   |            |

問41 あなたにとって、今後、特に充実してほしい情報は何か。(〇はあてはまるものすべて)

- |    |                                    |
|----|------------------------------------|
| 1  | 社会情勢や福祉制度の変化などに関する情報               |
| 2  | 福祉サービスの内容や利用方法などに関する情報             |
| 3  | 困ったときに相談ができる機関や窓口に関する情報            |
| 4  | 学校の進み方などの就学に関する情報                  |
| 5  | 仕事の進み方などの就職に関する情報                  |
| 6  | 文化・スポーツやレクリエーション、レジャーなどの余暇活動に関する情報 |
| 7  | 災害時の避難情報                           |
| 8  | ボランティア団体などに関する情報                   |
| 9  | その他 ( )                            |
| 10 | 特になし                               |

問37 あなたが地域で行われる行事や余暇活動に参加しようとした場合、そのさまたげとなることはありませんか。(〇はあてはまるものすべて)

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 1  | どのような活動が行われているか知らない |
| 2  | 気軽に参加できる活動が少ない      |
| 3  | 一緒に活動する友人・仲間が少ない    |
| 4  | 家事・仕事などの調整が難しい      |
| 5  | 活動場所が近くにない・移動手段がない  |
| 6  | 健康や体力に自信がない         |
| 7  | コミュニケーションが難しい       |
| 8  | 参加したくなるようなものがない     |
| 9  | 参加したいが誘ってもらえない      |
| 10 | 過去に参加したが期待はずれだった    |
| 11 | その他 ( )             |
| 12 | 特になし                |
| 13 | 参加しようとは思わない         |

問38 今後、余暇活動として、どのような活動をしたいと思いませんか。(〇はあてはまるものすべて)

- |    |                   |
|----|-------------------|
| 1  | スポーツ              |
| 2  | 旅行                |
| 3  | 買い物               |
| 4  | ボランティア活動          |
| 5  | 障害者団体の活動          |
| 6  | 趣味などのサークル活動・生涯学習  |
| 7  | 講座・講演会等への参加       |
| 8  | 地域の行事や祭り、学校・職場の行事 |
| 9  | その他 ( )           |
| 10 | 特になし              |

**生活全般についておたずねします**

問45 あなたは、ふだんどのようなように過ごしていますか。(〇は1つだけ)

- 1 家で過ごす
- 2 学校や幼稚園・保育園などに通っている
- 3 仕事をしている(自営業・家族従業員・福祉施設・作業所などを含む)
- 4 福祉施設や医療機関に入所・入院している
- 5 その他( )

問46 現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩みなどはありますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 経済的な不安
- 2 障言や健康上の心配、悩み
- 3 住まいの不満、悩み
- 4 仕事の不満または働く場がない
- 5 結婚問題の不安、悩み
- 6 友達がない
- 7 家庭内の問題
- 8 周囲の人の理解がない
- 9 通院、通勤、通学が困難
- 10 毎回のゴミ出しが困難
- 11 将来の生活が不安
- 12 生きがいを感じない
- 13 財産の管理が心配
- 14 方が一の時に身辺整理ができない
- 15 その他( )
- 16 特になし

問47 生活の中で困っていることや不安・悩みを誰(どこ)に相談していますか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 家族
- 2 友人・知人、近所の人
- 3 学校・職場の関係者
- 4 入所・通所している福祉施設の職員
- 5 障害者相談員や民生委員・児童委員
- 6 ホームヘルパーや訪問看護師等
- 7 病院・診療所の医師や看護師など
- 8 障害者団体
- 9 ボランティアなどの福祉団体
- 10 生活支援センターの職員など
- 11 市や県などの職員
- 12 その他( )
- 13 相談する人がいない

**災害対策についておたずねします**

問42 あなたは火事や地震などの災害時に、一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

- 1 できる
- 2 できない
- 3 わからない

問43 地震や台風などの大きな災害が起きた場合に、安全の確保等で頼れる人は誰ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 同居の家族
- 2 近所の別居家族や親戚
- 3 近所の友人・知人
- 4 民生委員・児童委員
- 5 施設の職員や仲間
- 6 その他( )
- 7 いない

問44 地震や台風などの大きな災害が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 正確な情報がない
- 2 救助を求めることができない
- 3 救助を求めてもすぐ来てくれる人がいない
- 4 安全なところまで、すぐ避難することができない
- 5 まわりの人とのコミュニケーションがとれない
- 6 被害状況や避難所(福祉避難所を含む)の場所、物資の入手法などがわからない
- 7 避難所で障害にあった対応をしてもらえるか心配である
- 8 必要な物が手に入らない、治療を受けられない
- 9 被災者や日常生活用品が不足する
- 10 酸素ボンベや吸引器、人工呼吸器などが使えなくなる
- 11 その他( )
- 12 特になし

福祉全般についておたずねします

問52 障害者に対する支援として、行政（国・県・市）はどのようなことを充実すべきだと思いますか。（〇は5つまで）

- 1 障害者に知する社会体の理解を深めるための啓蒙や人権教育の充実
- 2 障害者の特性や程度に応じた障害児保育・教育の充実
- 3 市の審議会や委員会などへの障害者の参画（登用）
- 4 就労支援の充実（働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等）
- 5 年金や手当などの充実
- 6 公営住宅への障害者優先入居など住居確保の充実
- 7 グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備
- 8 機能回復訓練などリハビリテーションの充実
- 9 在宅生活を支えるための医療の充実
- 10 通院・治療のための医療費の助成
- 11 ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
- 12 入所できる福祉施設の充実
- 13 障害者に対する情報提供や相談窓口の充実
- 14 障害者同士や地域の人などと交流ができる場の整備
- 15 ボランティアの育成と活動支援
- 16 文化・スポーツ・レクリエーションなどを通じた社会参加の支援
- 17 緊急時や災害時の支援体制の充実
- 18 障害者にやさしいまちづくりの推進（公共施設や民間施設、公共交通機関、通路等のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化）
- 19 その他（ ）
- 20 知らない

※バリアフリーとは、バリア（障壁）をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差を無くしたり、出入口や廊下の幅員を広げるなど、障害者や高齢者などが生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的バリア（障壁）を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザインとは、バリア（障壁）を除去するというバリアフリーの考え方に列して、あらかじめ障害の有無や年齢、性別、人種等にかかわらず様々な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

権利擁護についておたずねします

問48 あなたは障害があることで差別やいやな思いをする（した）ことがありますか。（〇は1つだけ）

- 1 ある
- 2 少しある
- 3 ない

【問48で「1 ある」または「2 少しある」と回答された方にお聞きします。】

問49 どのような場所で差別やいやな思いをされましたか。（〇はあてはまるものすべて）

- 1 学校・仕事場
- 2 仕事を採るとき
- 3 外出先
- 4 余暇を過ごすとき
- 5 病院などの医療機関
- 6 住んでいる地域
- 7 その他（ ）

【ふたたび、すべての方におたずねします】

問50 障害がある方が、地域で自立して生活できるように、ご本人の意思に基づいて、福祉サービスの利用手続きや生活費、財産管理のお手伝い等をする制度として、「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」があります。あなたはこのような制度や事業をご存知ですか。（〇は1つだけ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、くわしくは知らない
- 3 知らない

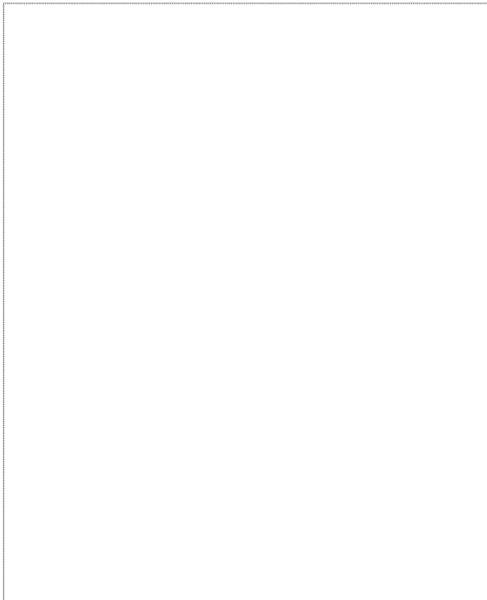
問51 「日常生活自立支援事業」や「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。（〇は1つだけ）

- 1 利用している
- 2 すぐにも利用したい
- 3 今は必要ないが、将来利用してみたい
- 4 利用したくない
- 5 わからない

※日常生活自立支援事業とは、知的障害や精神障害をお持ちで、判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用補助などを行う事業です。

※成年後見制度とは、知的障害や精神障害をお持ちで、判断能力が不十分な方の不動産や預貯金などの財産管理や契約を結ぶ際に、不利益とならないよう保護、支援する制度です。本人の親族以外にも、法律・福祉の専門家や福祉関係の公益法人、その他の法人が選ばれる場合があります。

問53 福祉施設や福祉サービスなどを含め、障害者福祉全般について、あなたがお考えに  
なっていることがありましたら、ご自由に記入ください。



質問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。

この調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、9月15日（金）までに  
郵便ポストに投函していただきますようお願い申し上げます。

## 田村市 生活と福祉に関するニーズ調査結果報告書

発行日 平成30年3月

発行 田村市 保健福祉部 介護福祉課

住所 〒963-4393 福島県田村市船引町船引字畑添 76-2

連絡先 TEL：0247-82-1115

FAX：0247-82-4555